

# 市立伊勢総合病院の建替えに関する 職員アンケート調査結果

---

平成 24 年 5 月

## 目次

I. 調査概要 .....	2
II. 調査結果 .....	3
III. 総括.....	28

## I. 調査概要

### 1 アンケートの目的

本調査は、以下の項目を中心に市立伊勢総合病院の現状および職員の当院に対する意見や要望の把握を行うことにより、新病院の建設基本計画策定に向けた検討資料を得ることを目的とする。

1. 当院の現状におけるソフト面とハード面の整備状況と、新病院で期待されるソフト面の整備とハード面の整備の把握
2. 職員から見た当院と他地域医療機関の連携状況と、新病院で地域連携に必要となる要素の把握
3. 職員から見た既存の診療科のあり方の把握
4. 職員から見た夜間・休日の救急医療のあり方の把握
5. 職員から見た新病院建設場所の条件の把握
6. 職員から見た伊勢赤十字病院と当院の役割分担の把握
7. 職員が考える新病院の目標、理念の把握

### 2 対象者について

調査対象者：市立伊勢総合病院勤務正職員 295 名（全数調査）

### 3 配布・回収について

#### (1) 配布数・配布方法

295 票 総務課から各職員へ配布

#### (2) 回収数

278 票（2012 年 4 月 25 日時点）

#### (3) 回収率

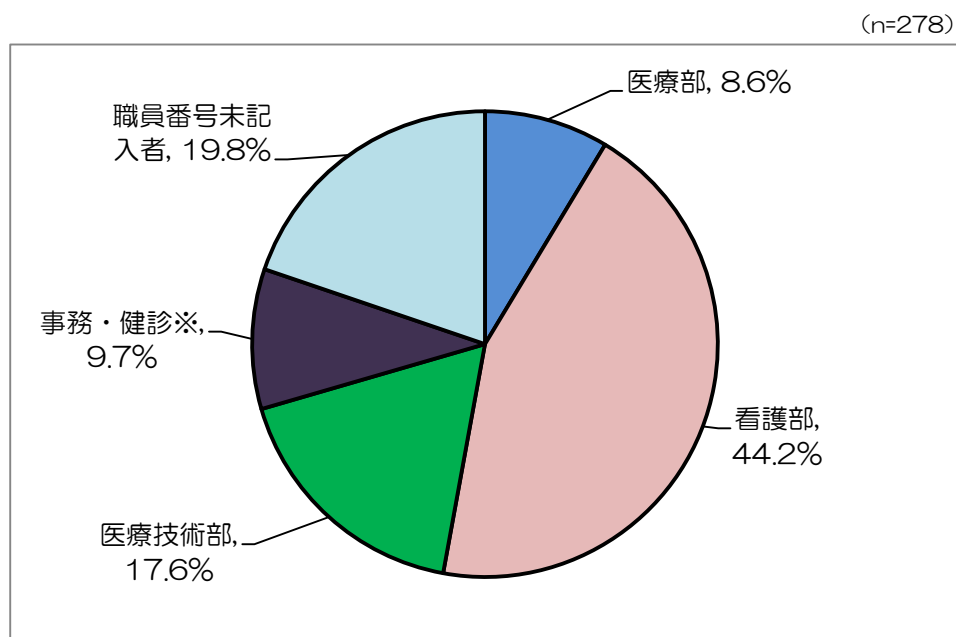
94.2%

## Ⅱ. 調査結果

### 1. あなたの職員番号をお書きください。

#### (1) 回答者部門構成

回答率が 94.2%となっているため、回答者の部門構成は基本的に職員数の構成に近いものになっていると考えられる。なお、19.8%の職員が職員番号未記入となっていた。



※事務職員と健診センター職員は合算で表記

2. 現在、あなたが所属する部門におけるソフト面（人員体制や仕組み・ルール等）について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。

全体では、全ての項目において、『どちらかと言えばそう思わない』および『思わない』が過半数となっており、病院職員が現状のソフト面に対して不満を持っていることが分かる。

医療部では、『他医療部門との連携がスムーズである』の設問に対して『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』が過半数を超えている。その一方で『適切な人数が配置されている』の設問に対して、『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』が極めて低く、医師不足の状況が顕著に表れている。

看護部では、職員数が多いこともあり、全体と同じような傾向が見られるが、『そう思う』といった回答割合が低い傾向が見られる。

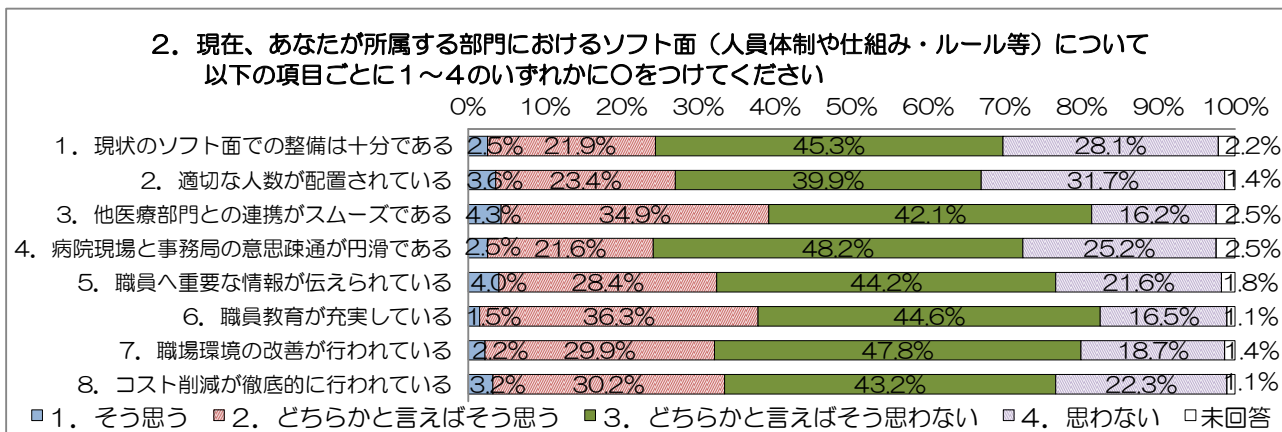
医療技術部では、『他医療部門との連携がスムーズである』、『職員の教育が充実している』、『コスト削減が徹底的に行われている』の設問に対して、概ね50%の職員が『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』と回答している。

事務・健診では、『職場環境の改善が行われている』の設問に対して、『そう思う』と回答した割合が最も高かった。また、いずれの項目に対しても未回答者が多い。

職員番号未記入者については、記入者に比べ、いずれの項目に対しても『どちらかと言えばそう思わない』および『思わない』と回答した割合が高くなっている。中でも『思わない』の割合が高くなっており、現病院のソフト面に対する不満を持っている状況だと推察される。

○全体

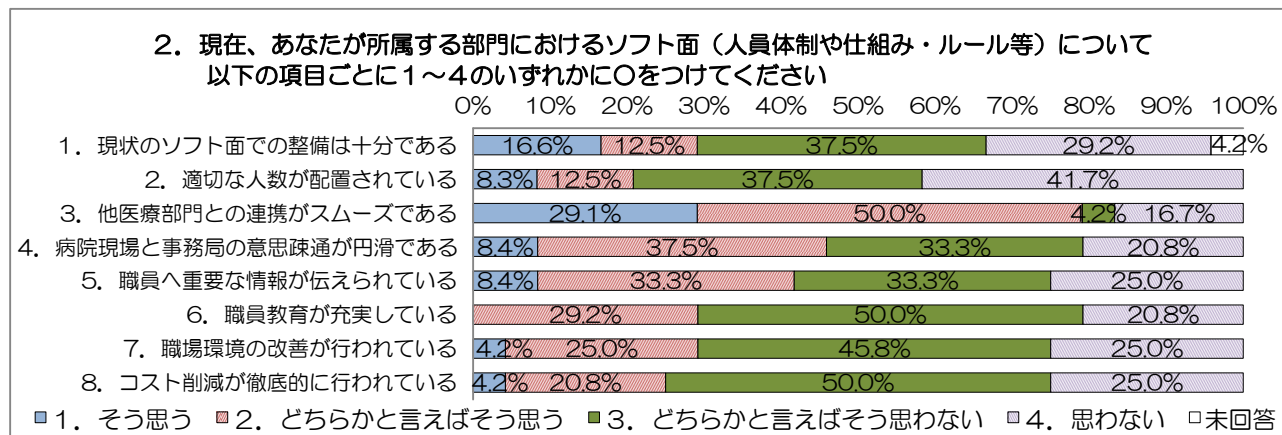
(n=278)



○部門別

【医療部】

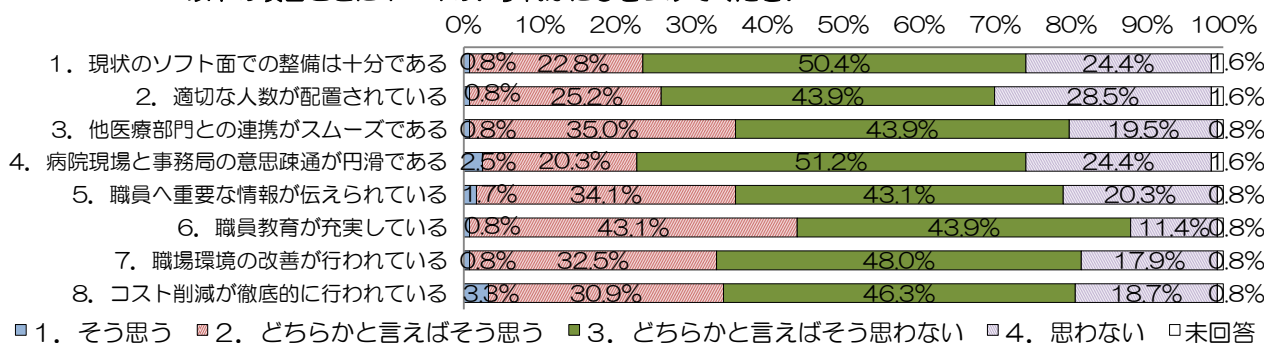
(n=24)



【看護部】

(n=123)

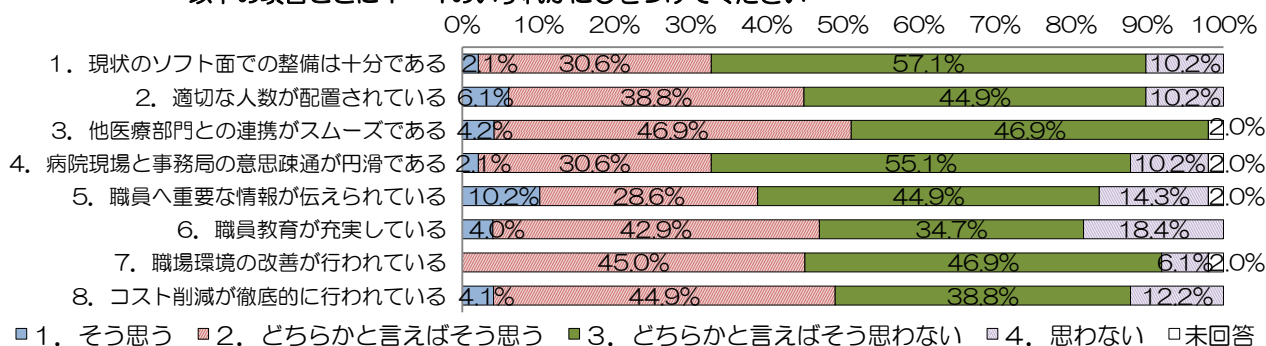
2. 現在、あなたが所属する部門におけるソフト面（人員体制や仕組み・ルール等）について  
以下の項目ごとに1～4のいずれかに○をつけてください



【医療技術部】

(n=49)

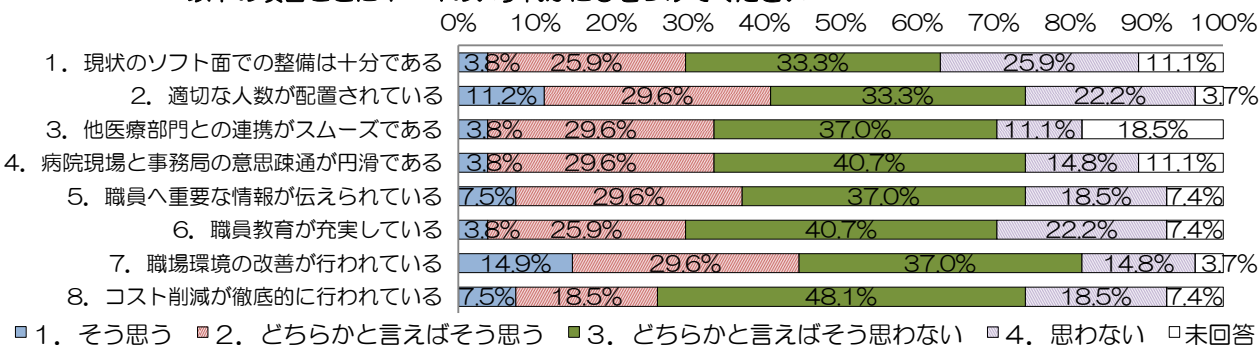
2. 現在、あなたが所属する部門におけるソフト面（人員体制や仕組み・ルール等）について  
以下の項目ごとに1～4のいずれかに○をつけてください



【事務・健診】

(n=27)

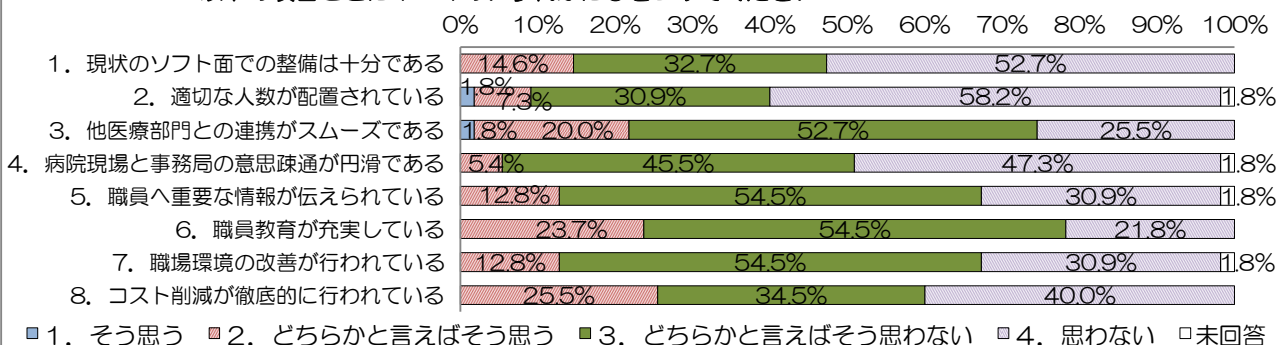
2. 現在、あなたが所属する部門におけるソフト面（人員体制や仕組み・ルール等）について  
以下の項目ごとに1～4のいずれかに○をつけてください



【職員番号未記入者】

(n=55)

2. 現在、あなたが所属する部門におけるソフト面（人員体制や仕組み・ルール等）について  
以下の項目ごとに1～4のいずれかに○をつけてください



3. 現在、あなたが所属する部門におけるハード面（施設や設備、医療機器等）について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。

全体では、『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』と回答した割合が過半数を超える項目はなく、ハード面に対する不満を持っている状況が分かる。また、中でも『適切なスペースが確保されている』の設問に対して『思わない』と回答した割合が47.1%となっており、特に評価が低い。

医療部では、『適切なスペースが確保されている』の設問に対して『どちらかと言えばそう思わない』および『思わない』と回答した割合が91.7%となっており、特に評価が低い。その一方、『収入の見込める医療機器等が整備されている』に対して、37.5%が『どちらかと言えばそう思う』と回答しており、他部門より高くなっている。

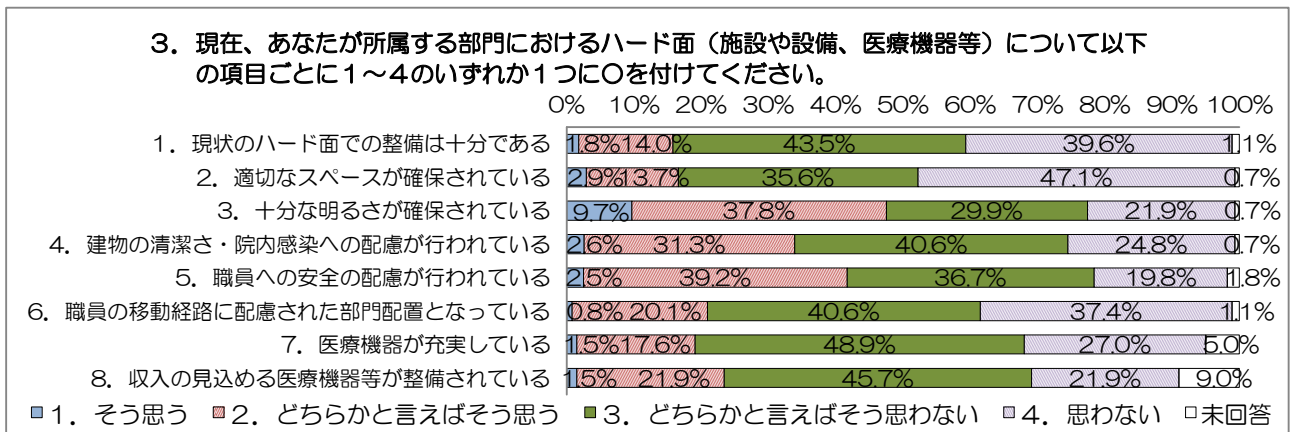
看護部では、職員数も多いこともあり、全体と同じ傾向を示している。

医療技術部では、『十分な明るさが確保されている』、『職員への安全の配慮が行われている』の項目について、『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』と回答した割合が過半数を超えている。その一方で、『現状のハード面での整備は十分である』の設問に対して、『どちらかと言えばそう思わない』および『思わない』と回答した割合が93.9%となっており、他部門と比べても最もその割合が高い。

事務・健診では、『十分な明るさが確保されている』の項目に対して、『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』と回答した割合が過半数を超えている。その一方で、『医療機器が充実している』、『収入の見込める医療機器等が整備されている』の項目に対して、『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』と回答した割合がいずれも10%未満で、他部門と比べても最もその割合が低い。

○全体

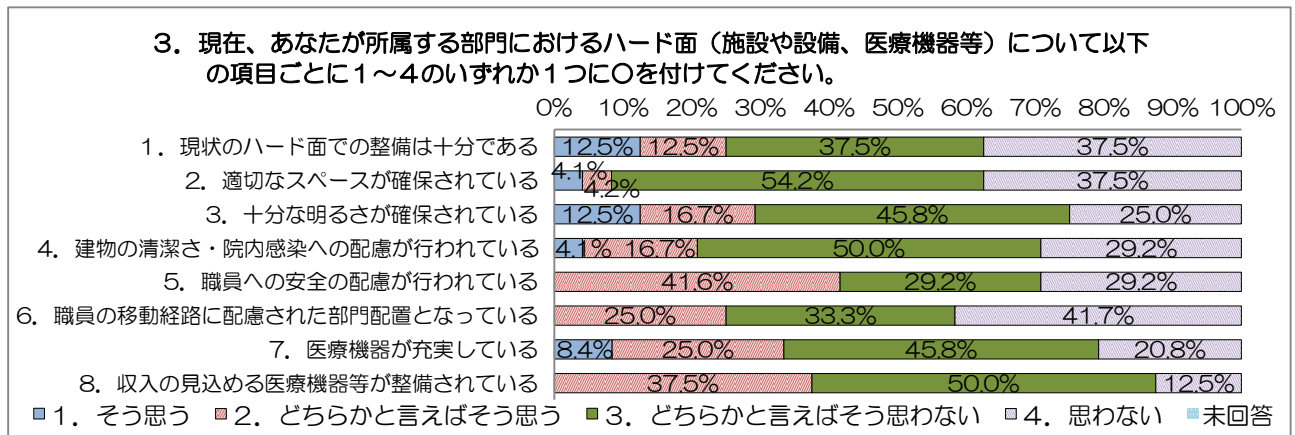
(n=278)



○部門別

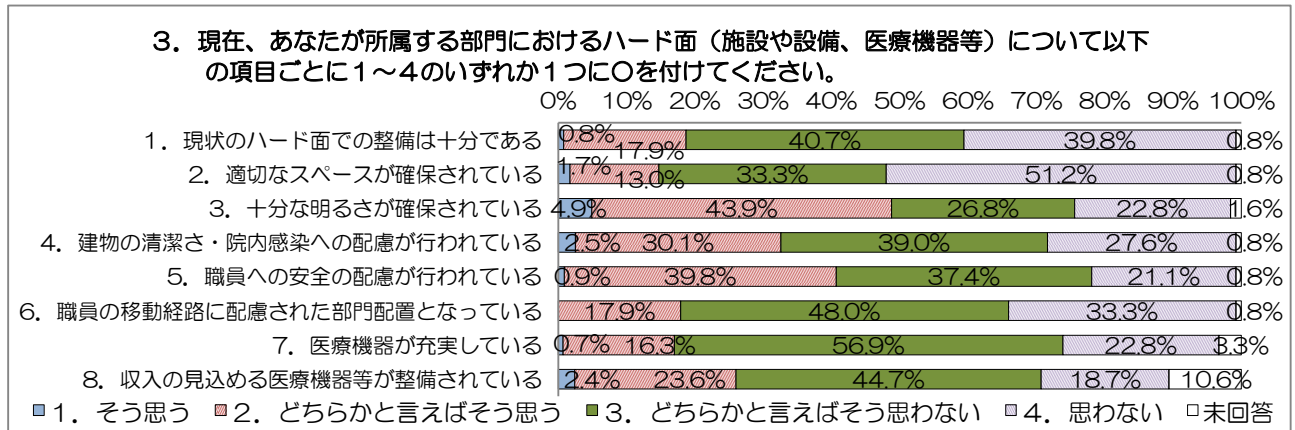
【医療部】

(n=24)



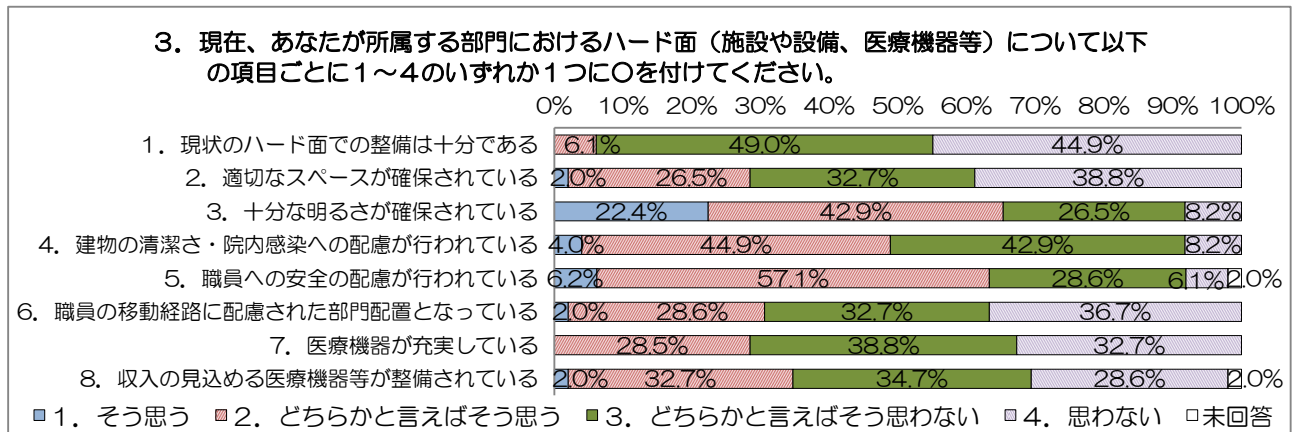
【看護部】

(n=123)



【医療技術部】

(n=49)

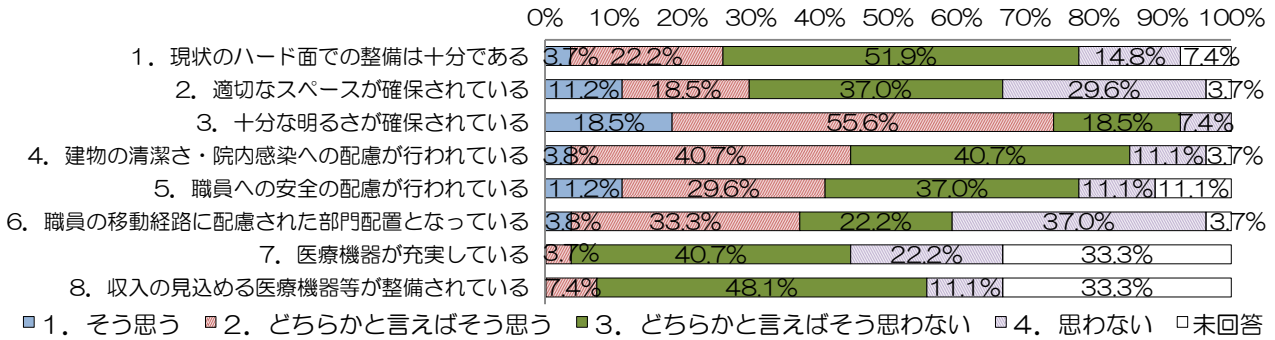




【事務・健診】

(n=27)

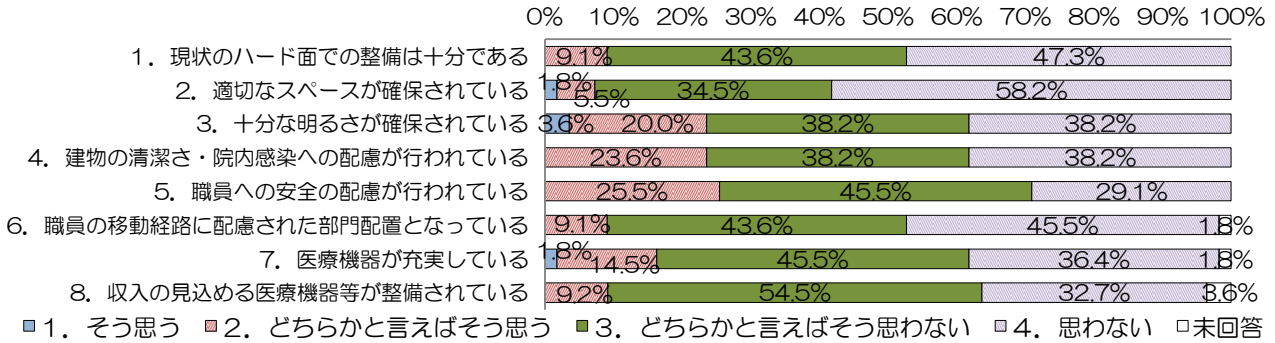
3. 現在、あなたが所属する部門におけるハード面（施設や設備、医療機器等）について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。



【職員番号未記入者】

(n=55)

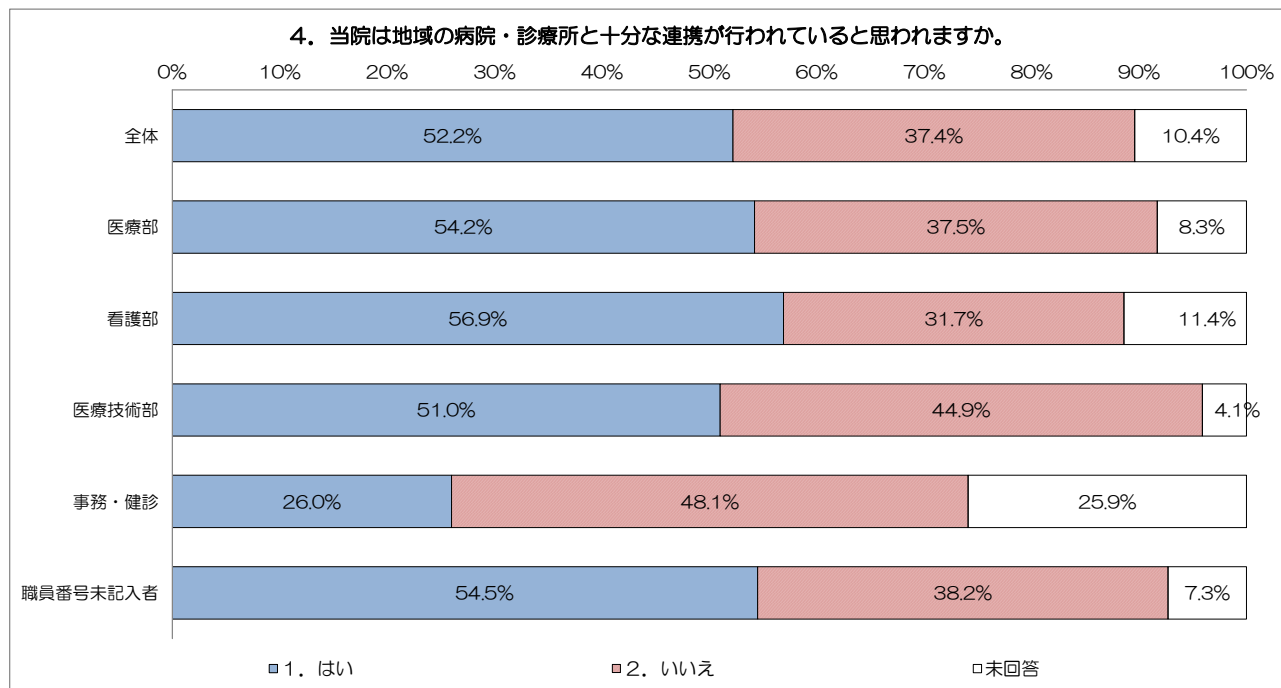
3. 現在、あなたが所属する部門におけるハード面（施設や設備、医療機器等）について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。



4. 地域の病院・診療所との地域連携状況についてお伺いします。当院は地域の病院・診療所と十分な連携が行われていると思われませんか。

地域連携の状況に対して、概ね半数の職員が『はい』と回答している。ただし、事務・健診では、『はい』と回答した割合が他部門と比べて低くなっているとともに、『未回答』の割合が高くなっている。『いいえ』と回答した割合は他部門に比べて事務・健診では高くなっている。

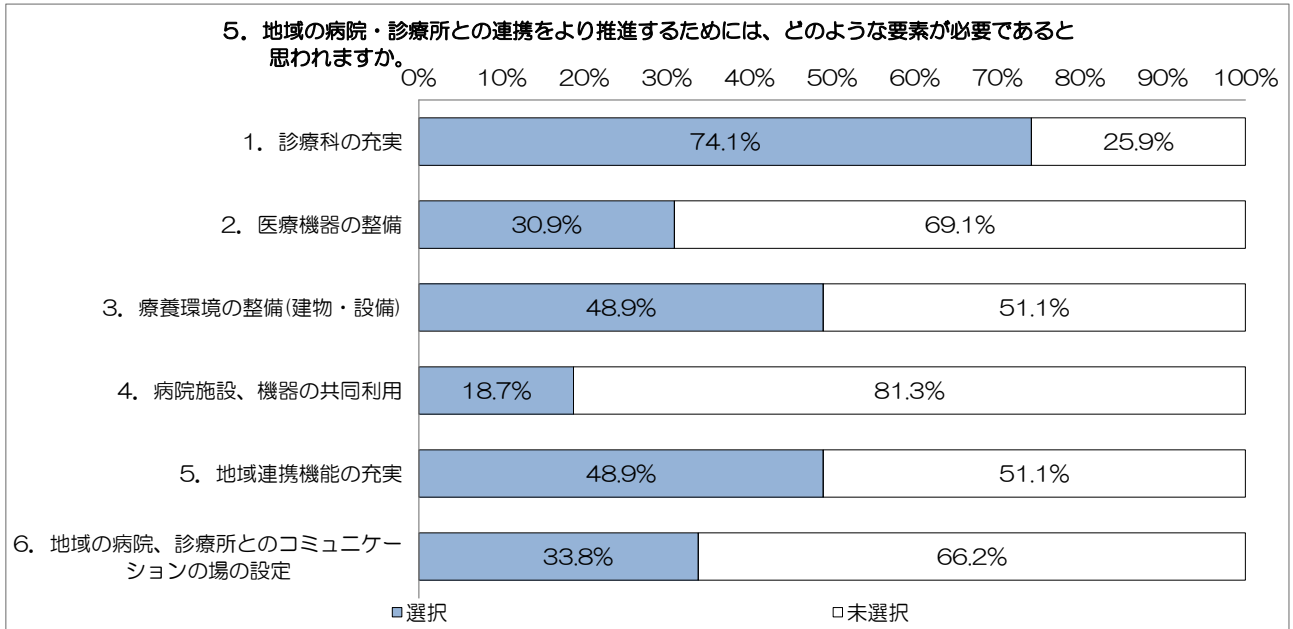
(n=278)



5. 地域の病院・診療所との連携をより推進するためには、どのような要素が必要であると思われますか。

地域医療を推進するための要素として、『診療科の充実』が必要だとする意見が最も多い。また、『病院施設、機器の共同利用』については、必要だとする意見の割合が低くなっている。

(n=278)

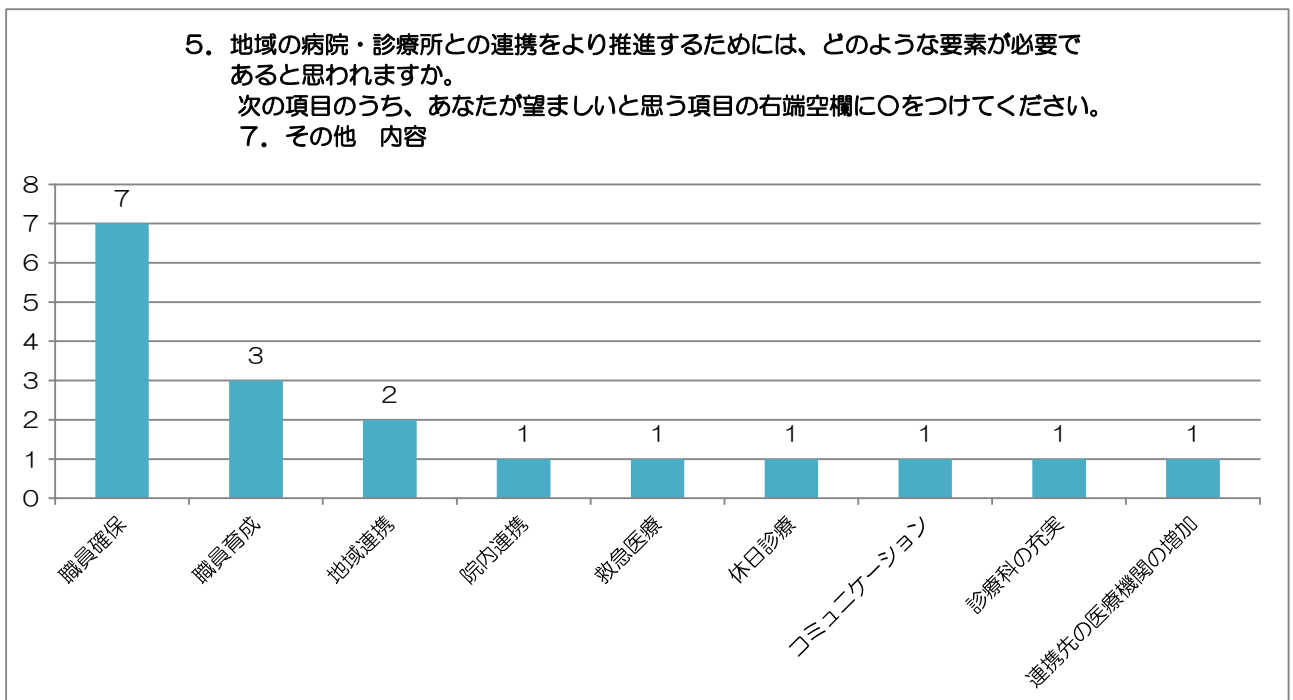


○自由記述

自由記述の内容を見ると、地域の病院・診療所との連携をより推進するため、職員確保が必要との回答が自由記述には見られる。医師の確保はもちろんであるが、社会福祉士など、地域の医療機関との連携に関わる職員の増員が必要であるとの回答も見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=15)



6. 新病院の建替え整備に関して、ソフト面に期待する点についてお教えてください。

(1) 病院全体の診療機能におけるソフト面への期待について以下の項目ごとに1~4のいずれか1つに○を付けてください。

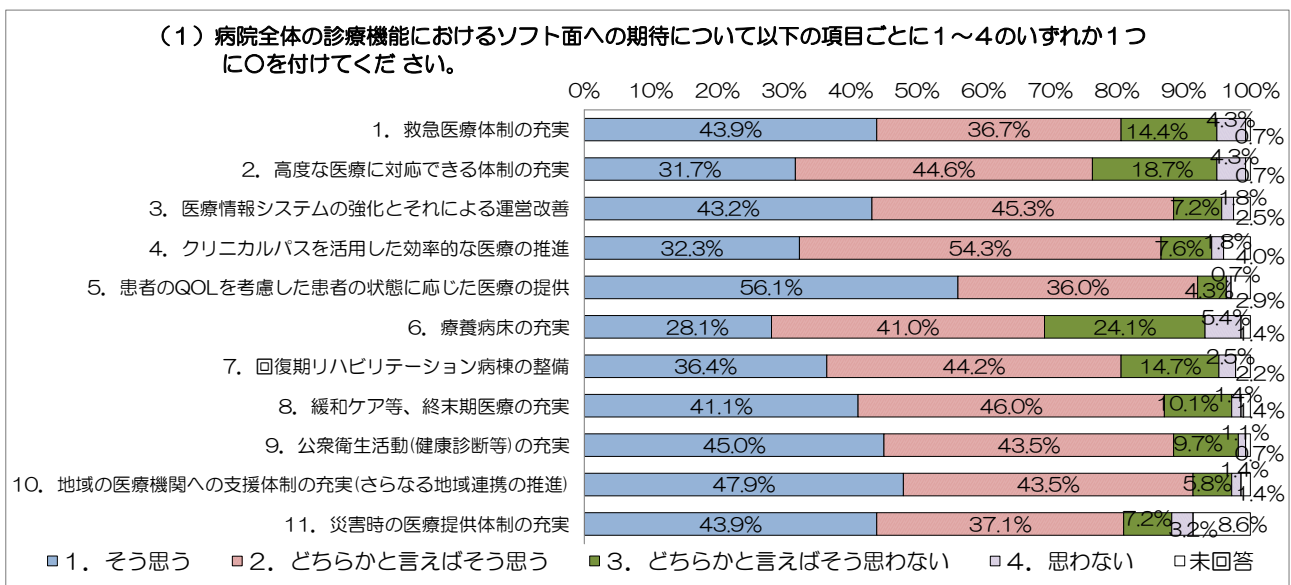
病院全体の診療機能におけるソフト面への期待として、全体では、療養病床の充実を除く全ての項目に対して『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』という意見が75%を超えている。

医療部、看護部、医療技術部、事務・健診でも同様に全ての項目に対して『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』という意見が過半数を超えている。

職員番号未記入者については、記入者に比べて、『療養病床の充実』および『回復期リハビリテーション病棟の整備』に対して『どちらかと言えばそう思わない』および『思わない』とする割合が高い。

○全体

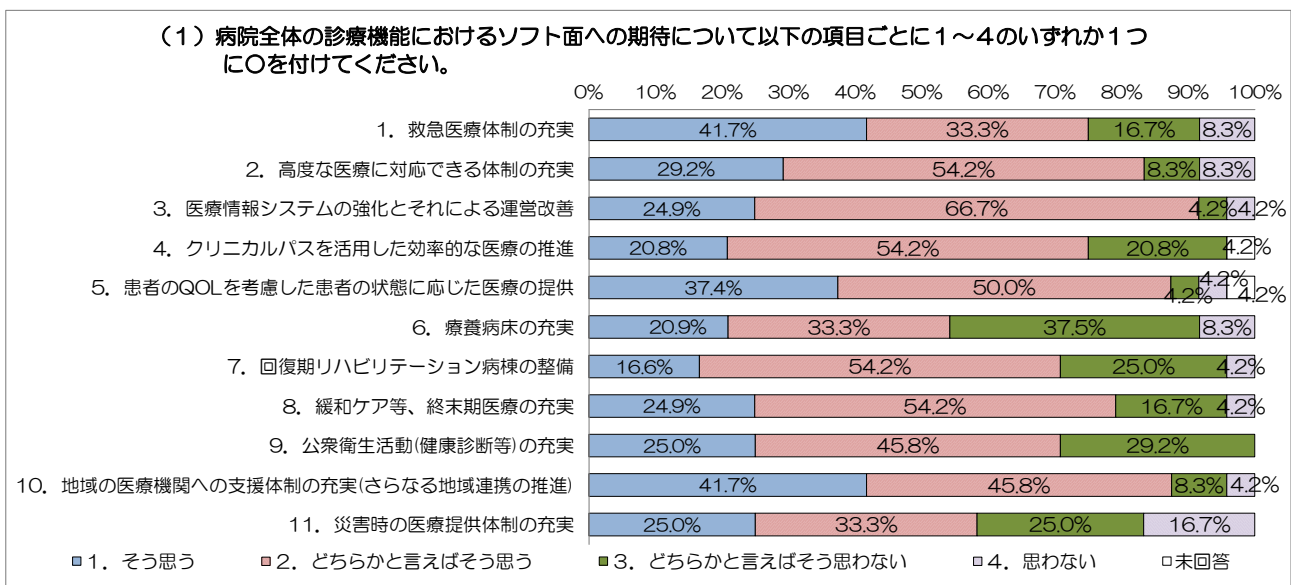
(n=278)



○部門別

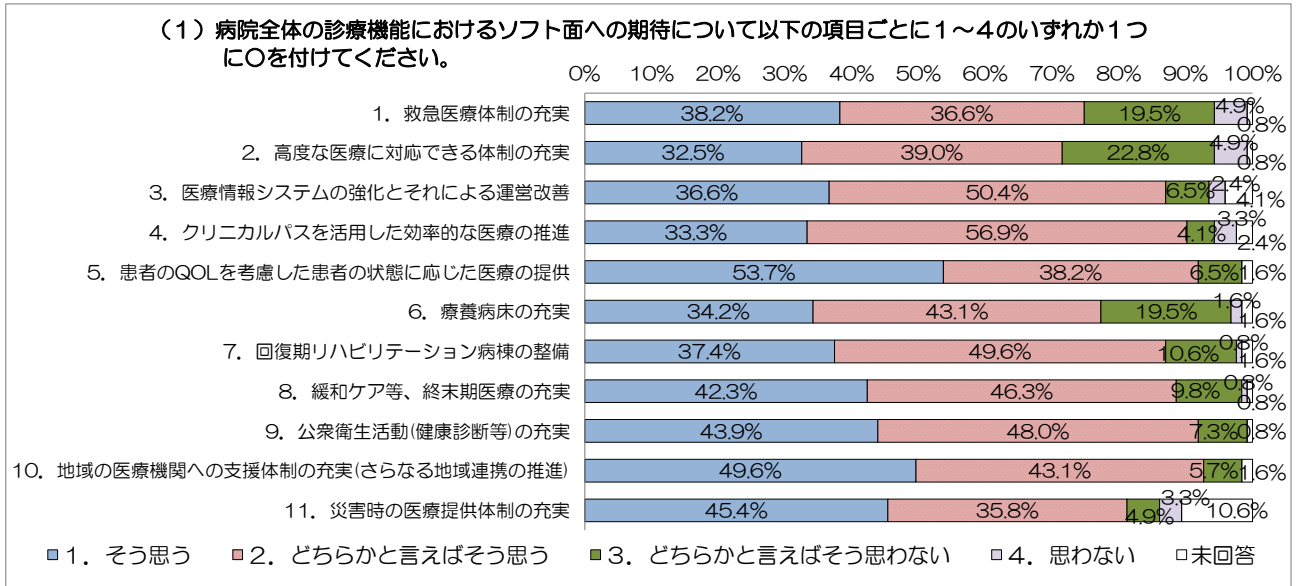
【医療部】

(n=24)



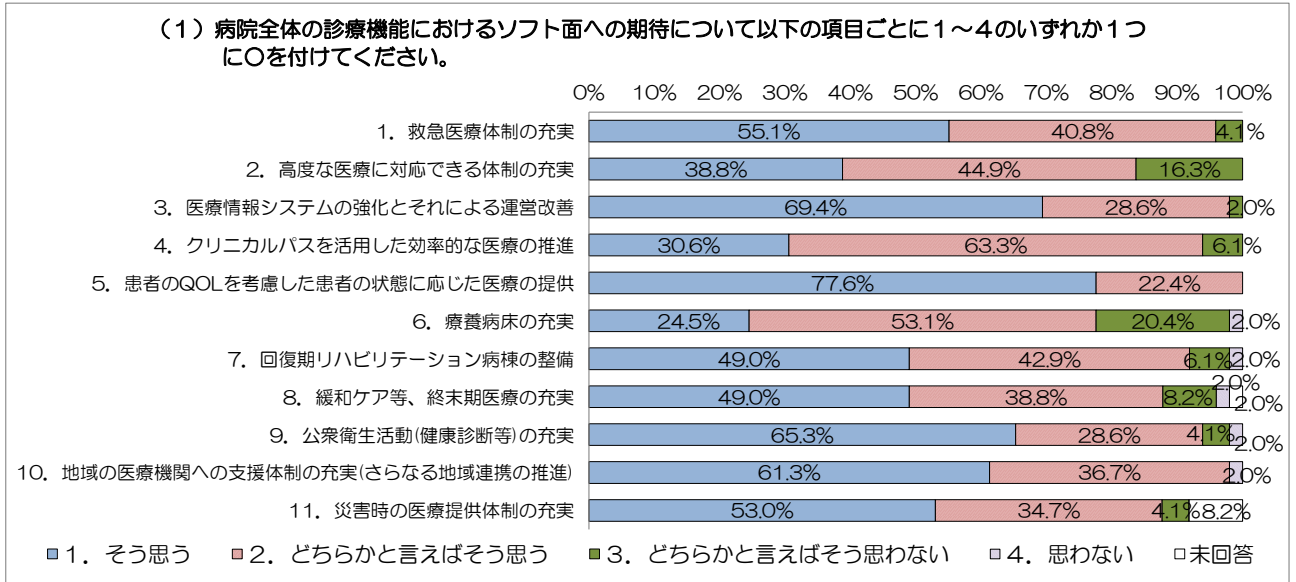
【看護部】

(n=123)



【医療技術部】

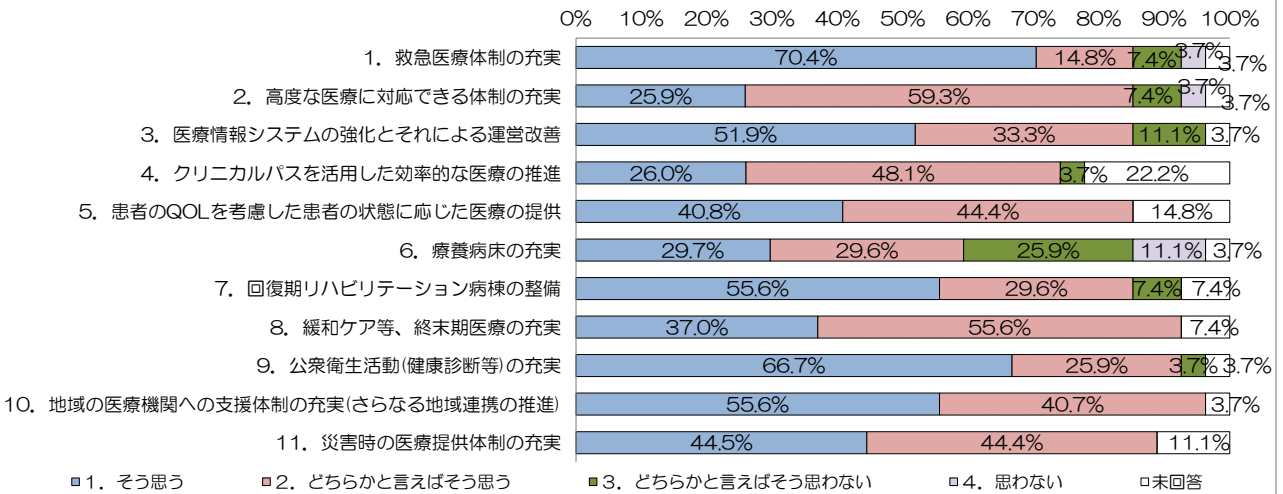
(n=49)



【事務・健診】

(n=27)

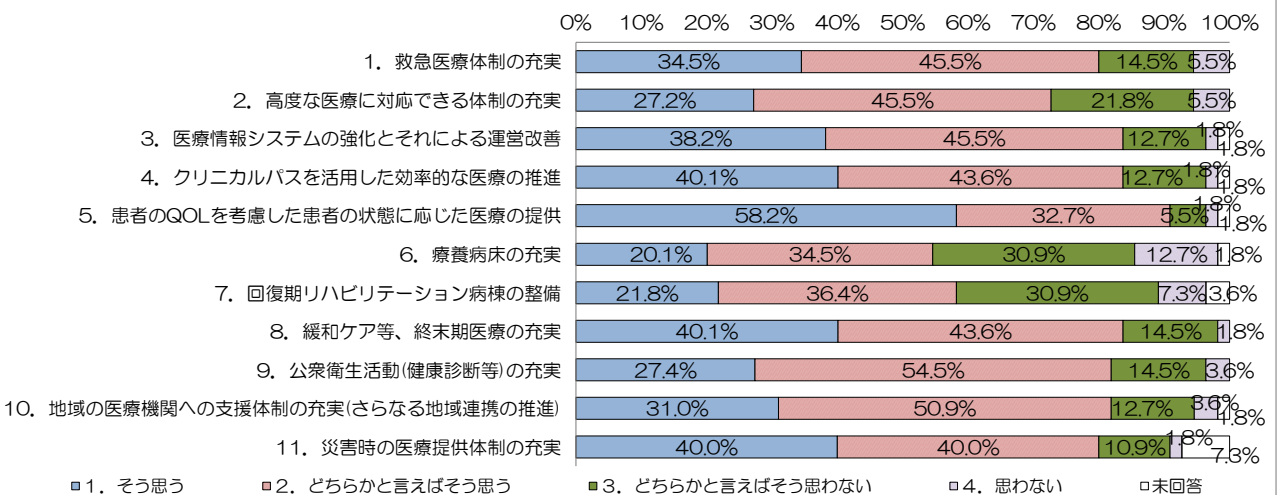
(1) 病院全体の診療機能におけるソフト面への期待について以下の項目ごとに1~4のいずれか1つに○を付けてください。



【職員番号未記入者】

(n=55)

(1) 病院全体の診療機能におけるソフト面への期待について以下の項目ごとに1~4のいずれか1つに○を付けてください。

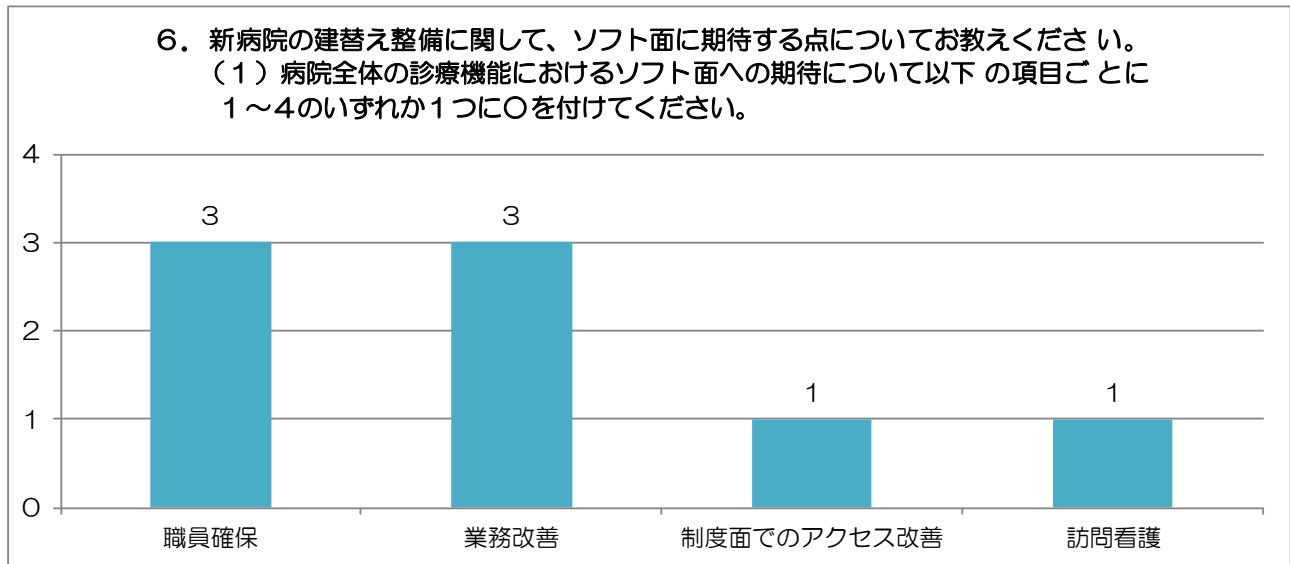


○自由記述

自由記述では、診療機能のソフト面を整備していく上で、職員の確保が必要と考えられている、また、職員確保することによって、業務改善に繋がるといった意見も見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=6)

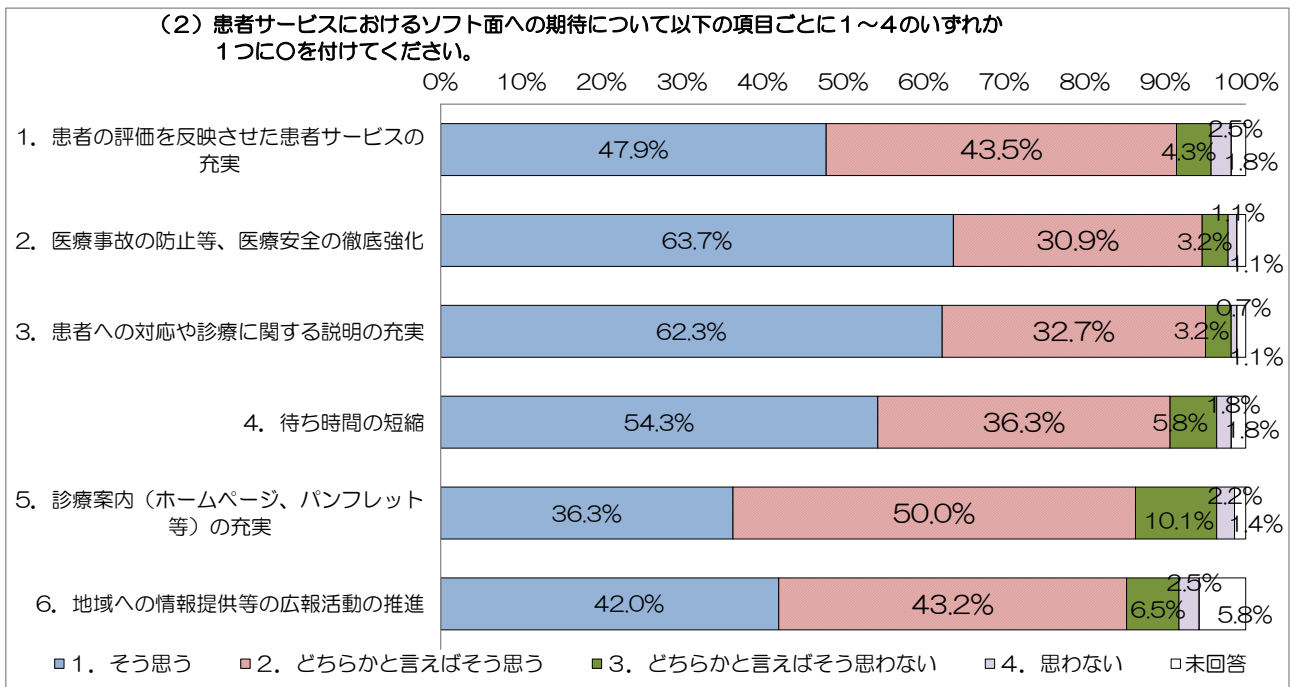


(2) 患者サービスにおけるソフト面への期待について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。

患者サービスにおけるソフト面への期待として、全体では、全ての項目に対して『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』という意見が過半数を超えている。

また、『医療事故の防止等、医療安全の徹底強化』および『患者への対応や診療に関する説明の充実』が『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』の合計の割合が高い2項目になっている。

(n=278)

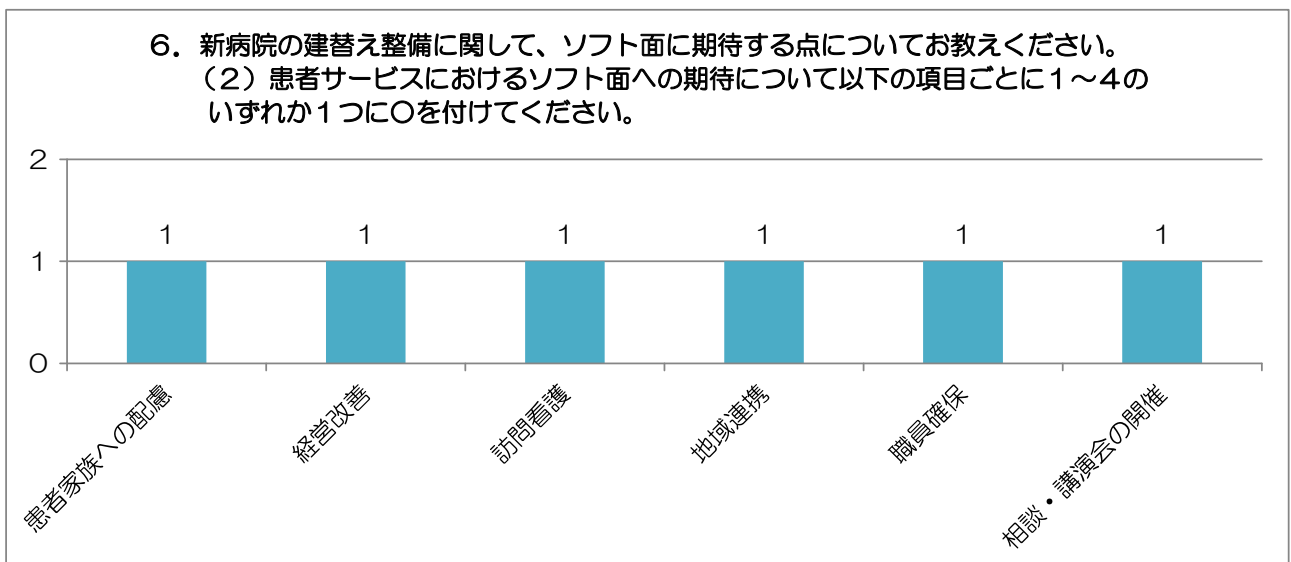


○自由記述

自由記述では、『患者家族への配慮』や『訪問看護サービスの実施』、『地域連携』や『相談・講演会の開催』などが患者サービスに必要なものとする意見があった。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=5)

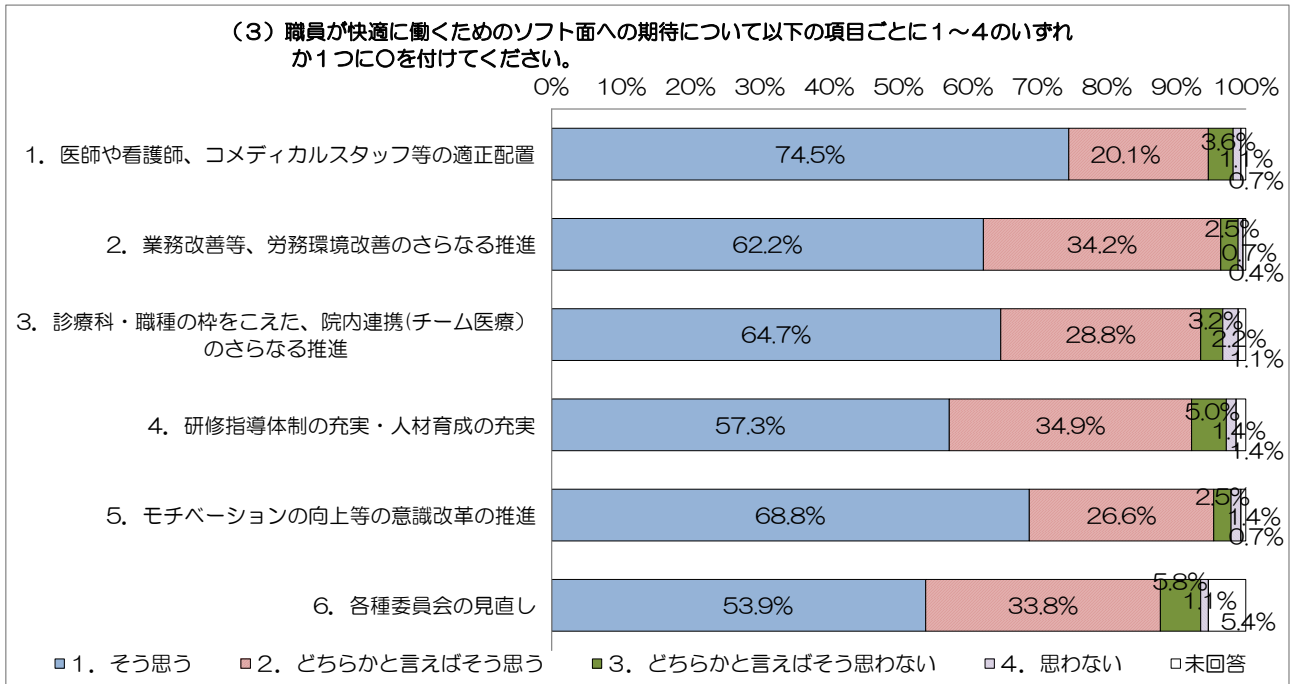




(3) 職員が快適に働くためのソフト面への期待について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。

職員が快適に働くためのソフト面への期待として、全ての項目に対して『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』という意見が過半数を超えている。

(n=278)

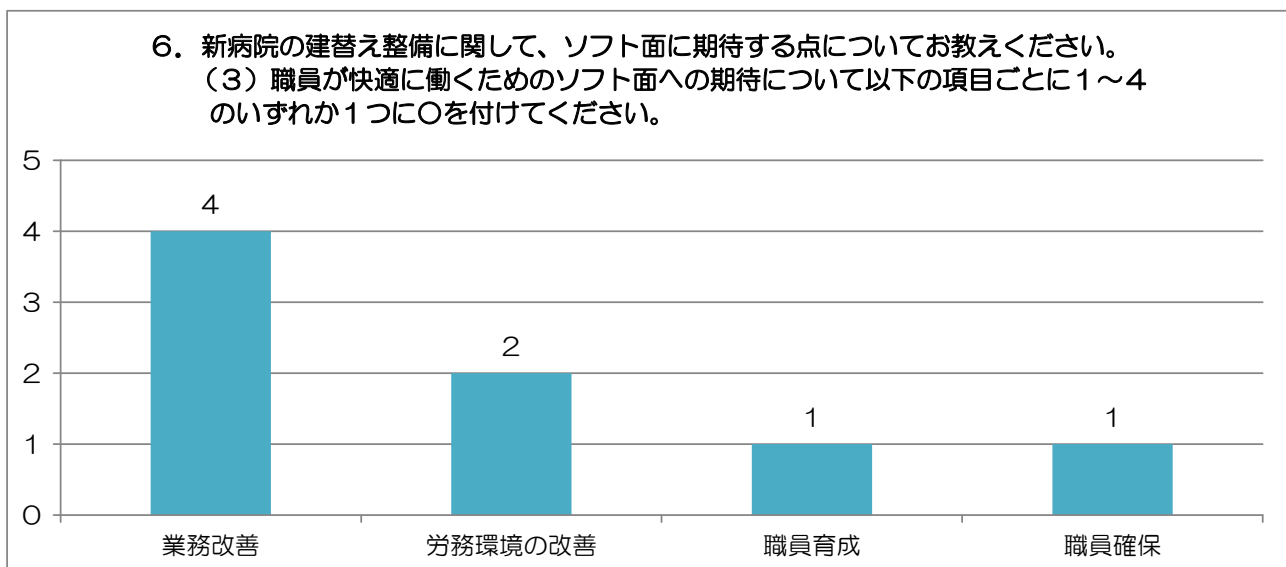


○自由記述

自由記述では、主な回答として、職員の適切な配置などの『業務改善』や『労務環境の改善』などが見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=7)

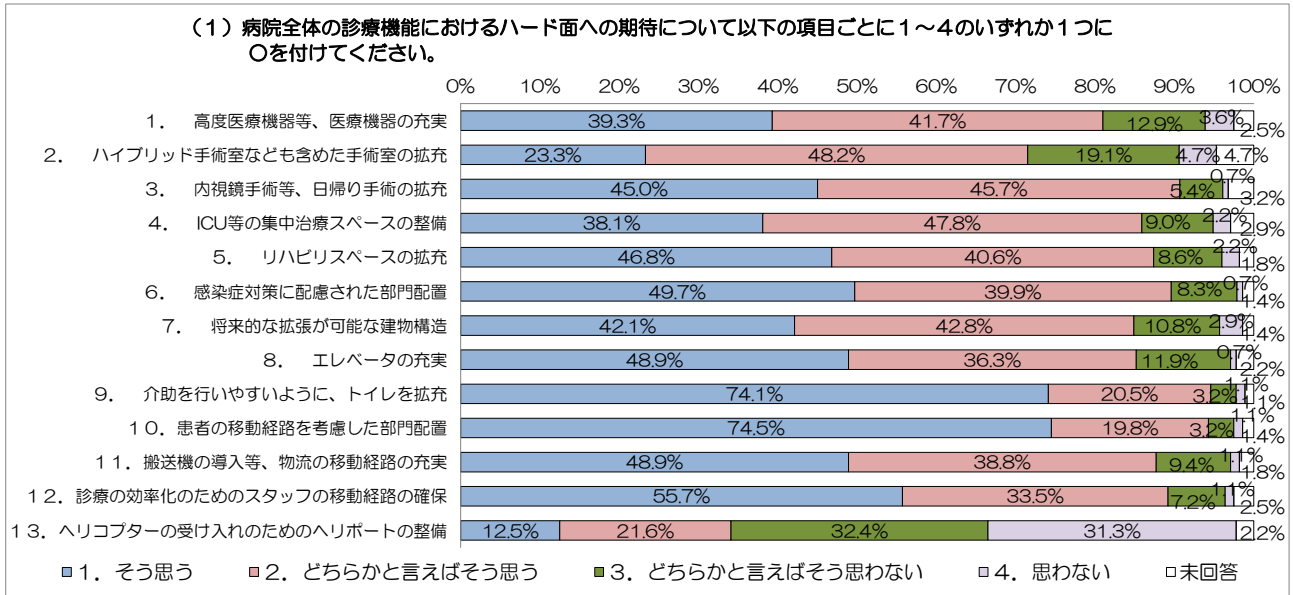


7. 新病院の建替え整備に関して、ハード面に期待する点について教えてください。

(1) 病院全体の診療機能におけるハード面への期待について以下の項目ごとに1~4のいずれか1つに○を付けてください。

病院全体の診療機能におけるハード面への期待として、『ヘリコプターの受け入れのためのヘリポートの整備』を除く全ての項目に対して『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』という意見が過半数を超えている。

(n=278)

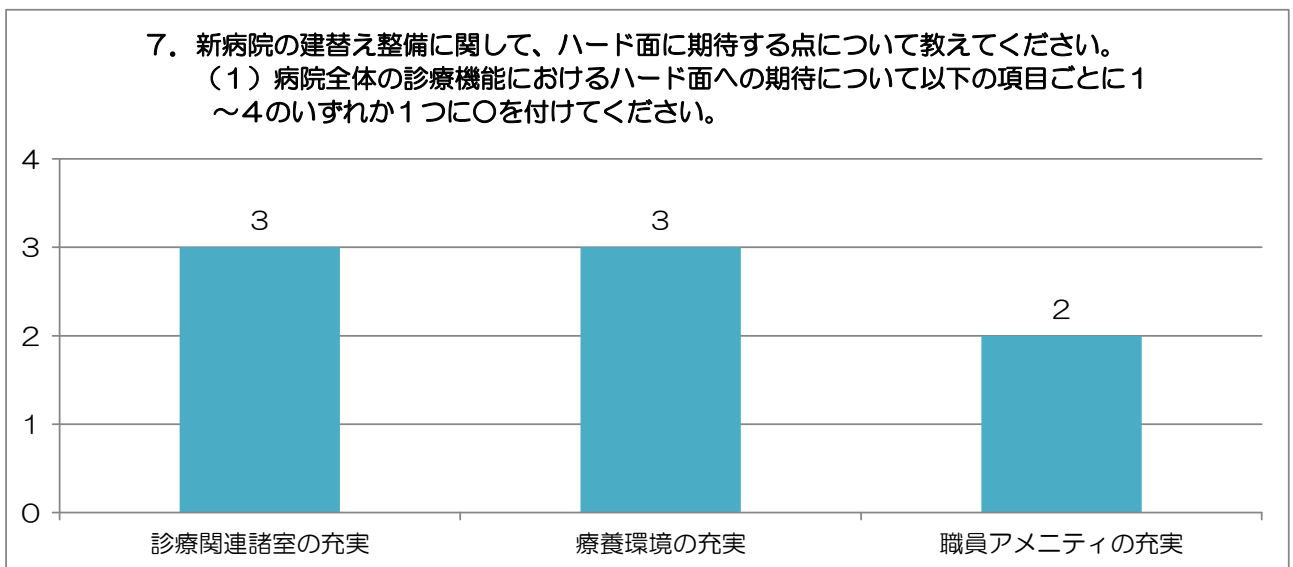


○自由記述

自由記述では、新病院の診療機能におけるハード面への期待として、病室の改善など、患者の入院に関する療養環境の充実や面談室・相談室等の診療関連諸室の充実、職員アメニティに関する意見が見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

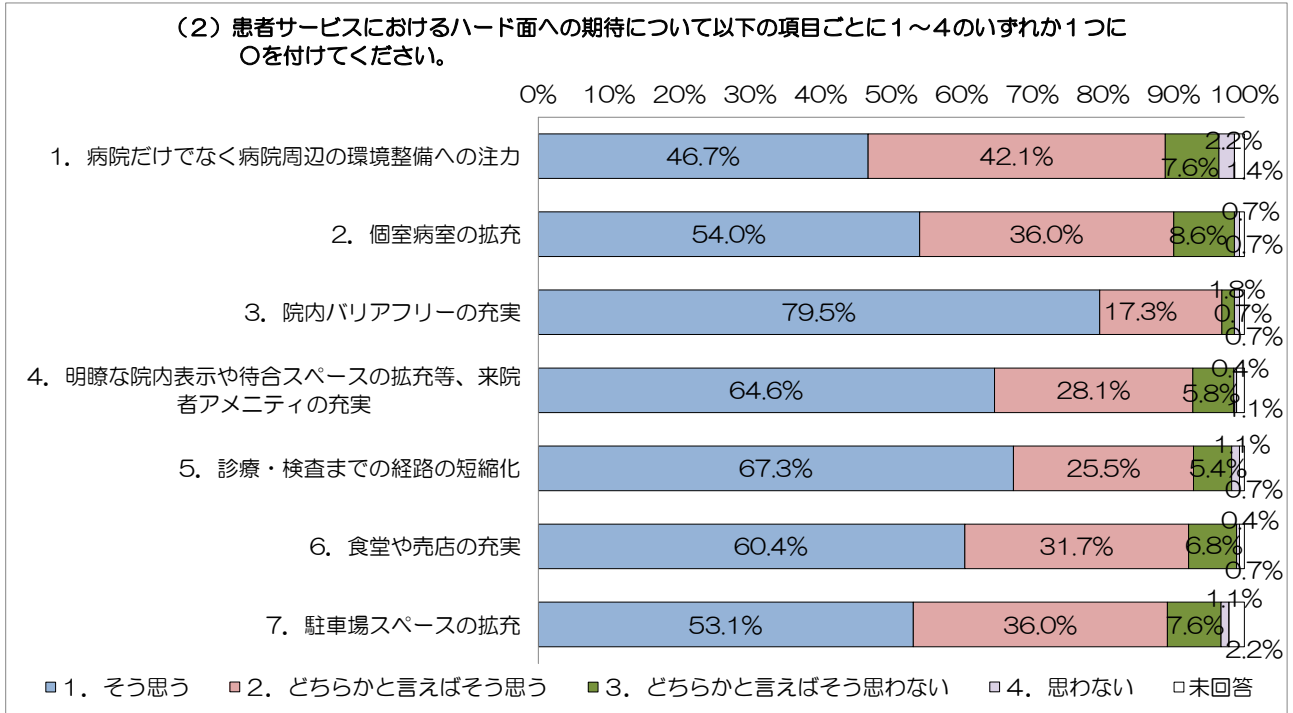
(n=5)



(2) 患者サービスにおけるハード面への期待について以下の項目ごとに1~4のいずれか1つに○を付けてください。

患者サービスにおけるハード面への期待として、いずれの項目においても『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』が過半数を超えている。

(n=278)

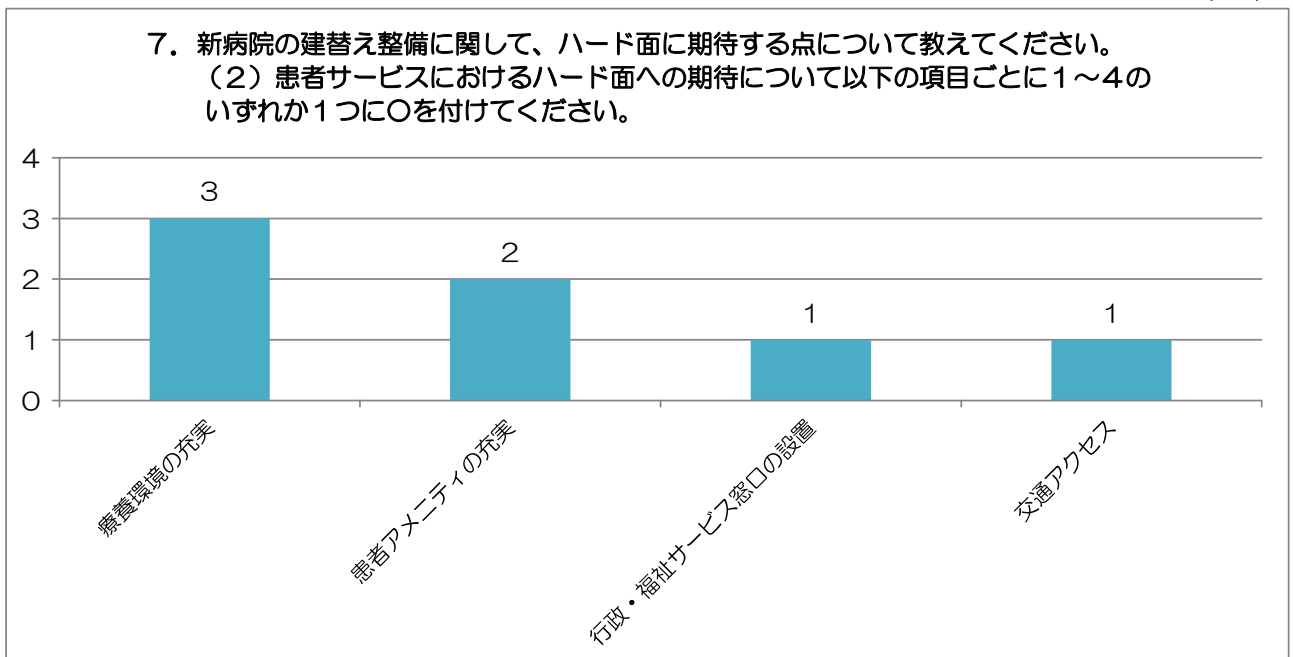


○自由記述

自由記述では、空間づくりなどの療養環境の充実、患者用トイレ、休憩可能スペースの拡充や託児施設、行政・福祉の各種サービス窓口など、受診者の利便性を高める具体的な意見が見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

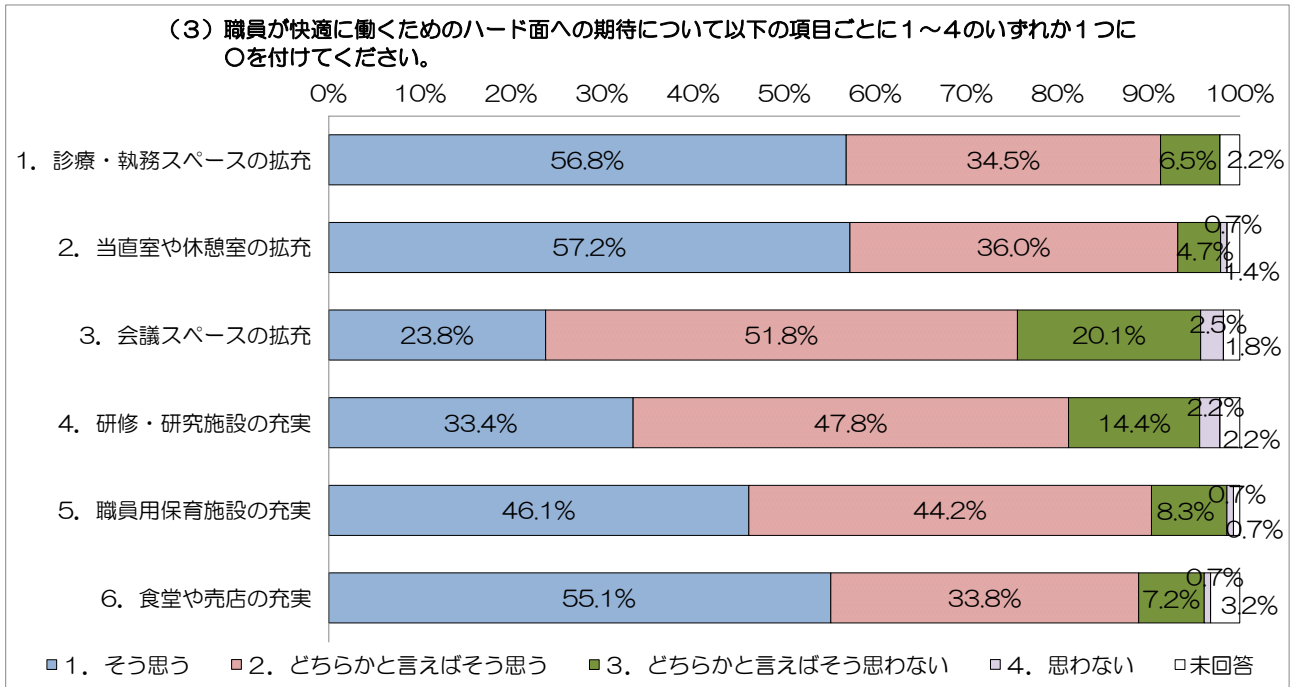
(n=7)



(3) 職員が快適に働くためのハード面への期待について以下の項目ごとに1～4のいずれか1つに○を付けてください。

職員が快適に働くためのハード面への期待として、いずれの項目においても『そう思う』および『どちらかと言えばそう思う』が過半数を超えている。逆に、会議スペースや研修・研究スペースにおける『そう思う』の回答割合は低い。

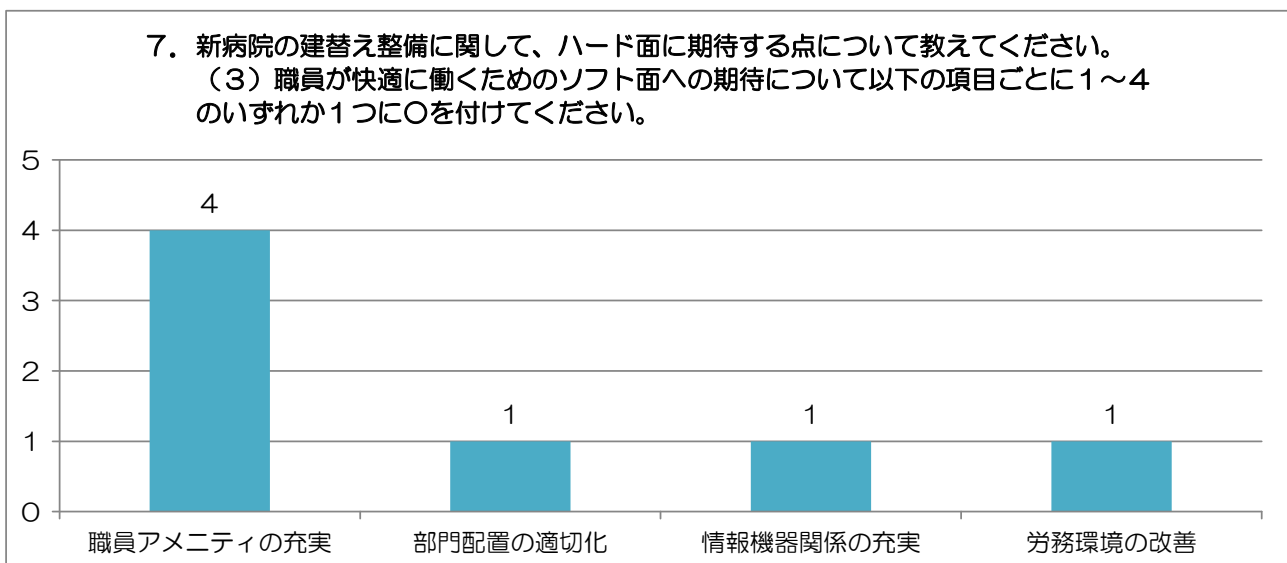
(n=278)



自由記述では、職員アメニティの充実を中心とした具体的な意見が見られる。職員用トイレの拡充や職員用駐車場の整備が求められており、中にはリハビリ施設を時間外で職員厚生として利用することを回答している記述もある。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=6)



8. 新病院の整備に向け、既存の診療科のあり方について、あなたの考えに近い番号1～4に○をつけてください。また、その他必要な診療科があれば、項番18にお書きください。

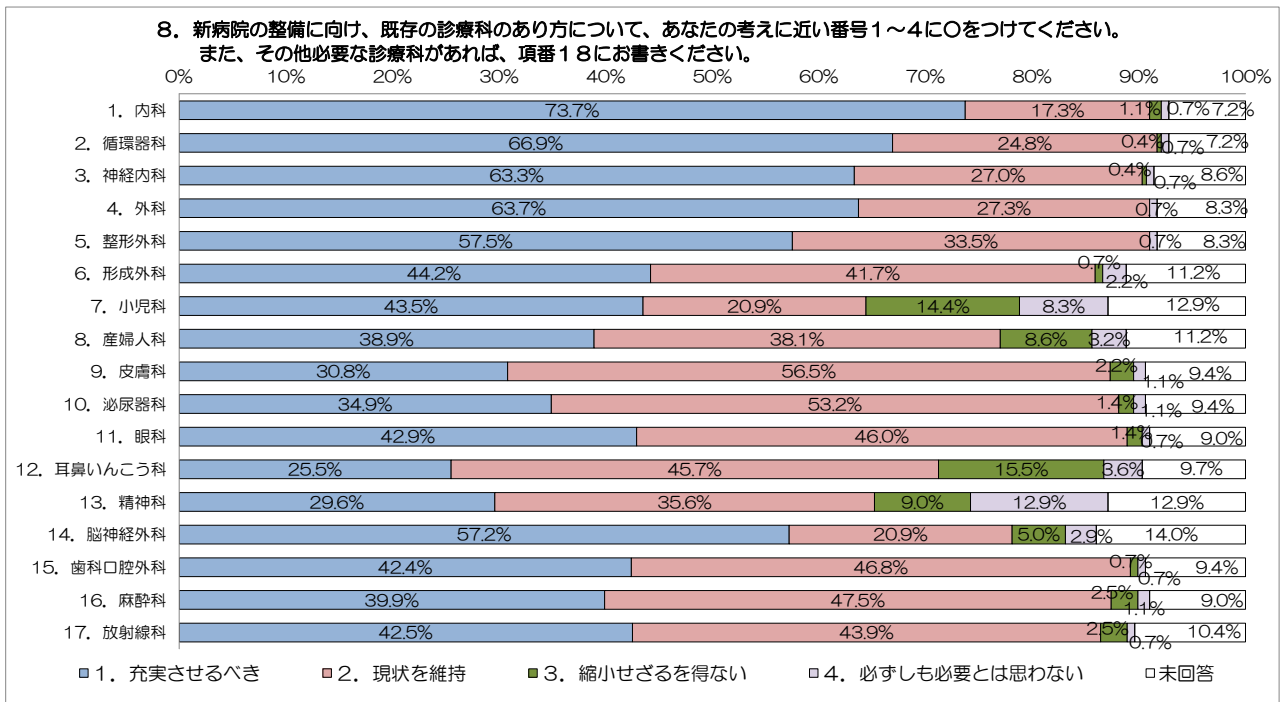
診療科については、内科、循環器科、神経内科、外科については職種を問わず『充実させるべき』という意見が過半数を超えている。次いで整形外科、脳神経外科では職種別でもほとんどが『充実させるべき』という意見が過半数を超えている。

皮膚科、泌尿器科については、部門によって多少差は見られるものの、『現状を維持』という意見が概ね過半数を占めている。

さらに小児科、精神科については、『必ずしも必要とは思わない』といった意見が確認できる。

○全体

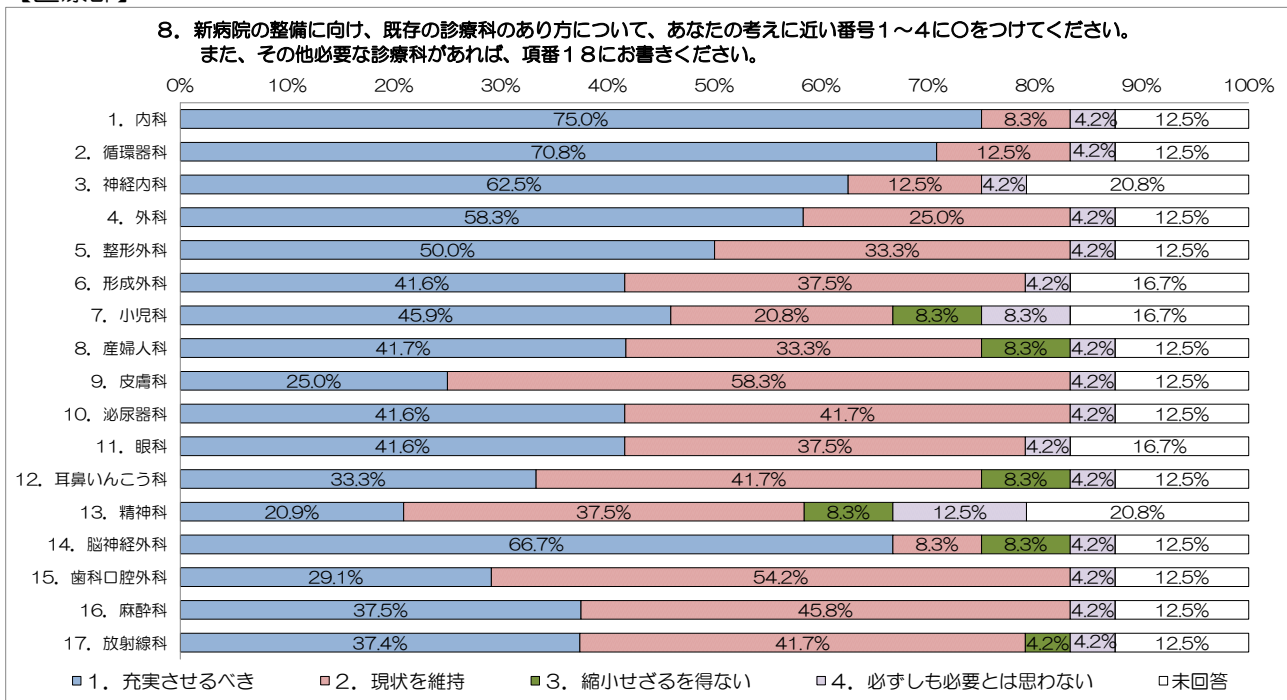
(n=278)



○部門別

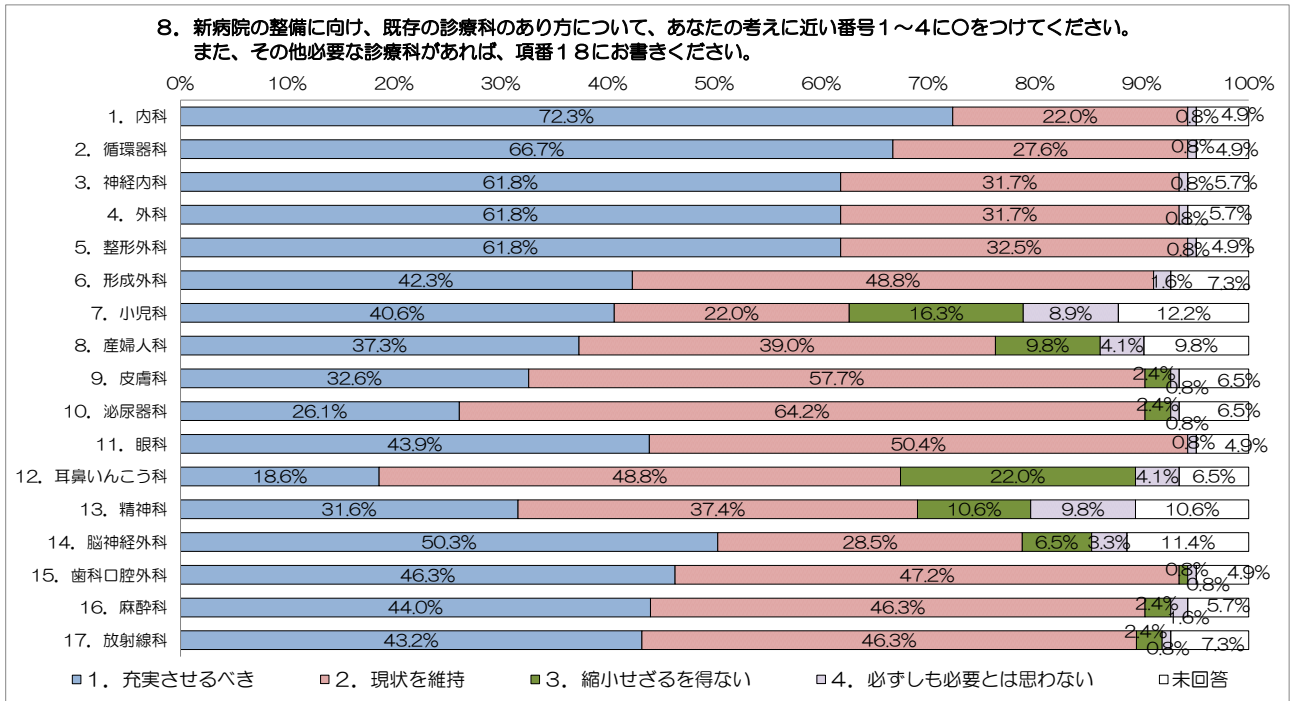
【医療部】

(n=24)



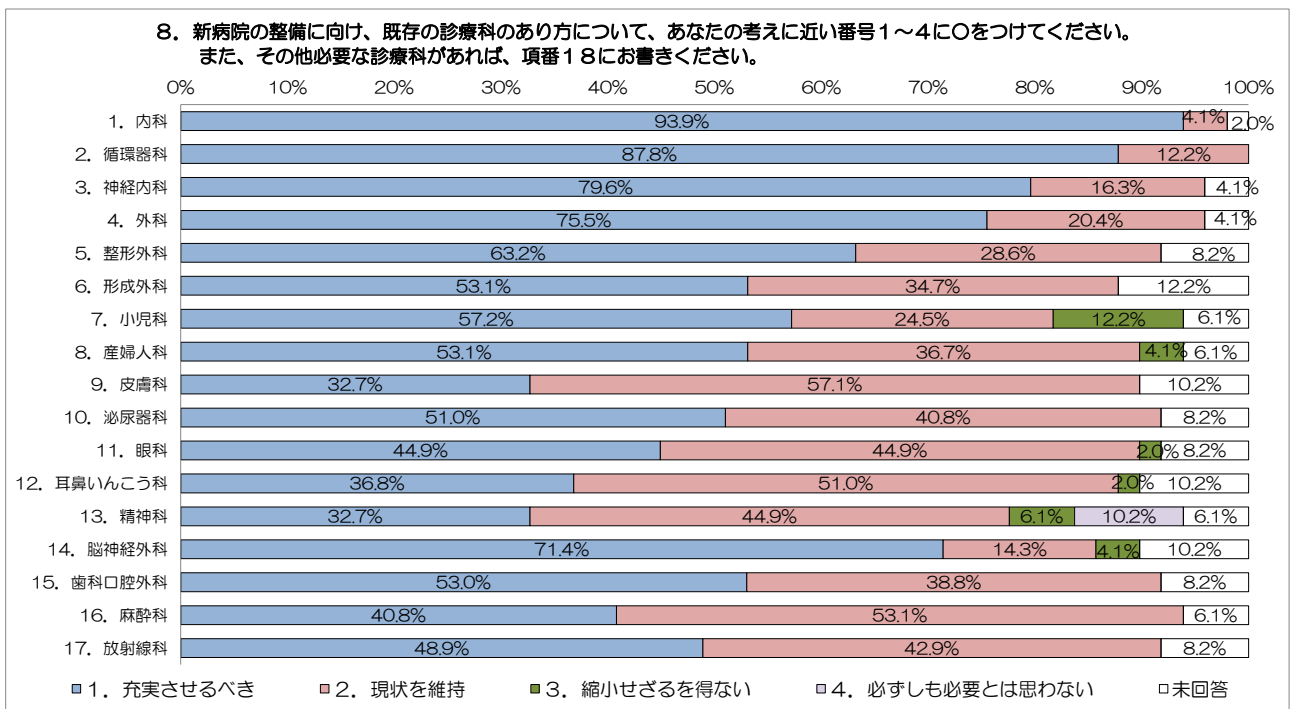
【看護部】

(n=123)



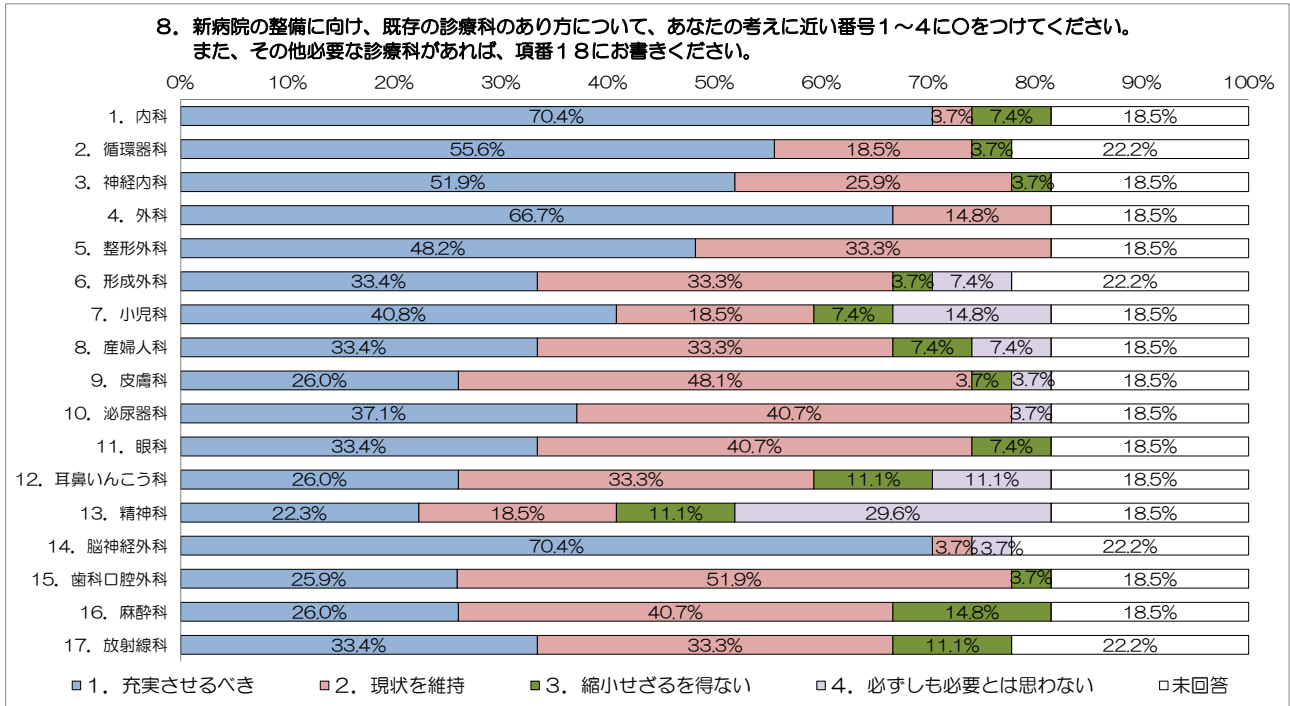
【医療技術部】

(n=49)



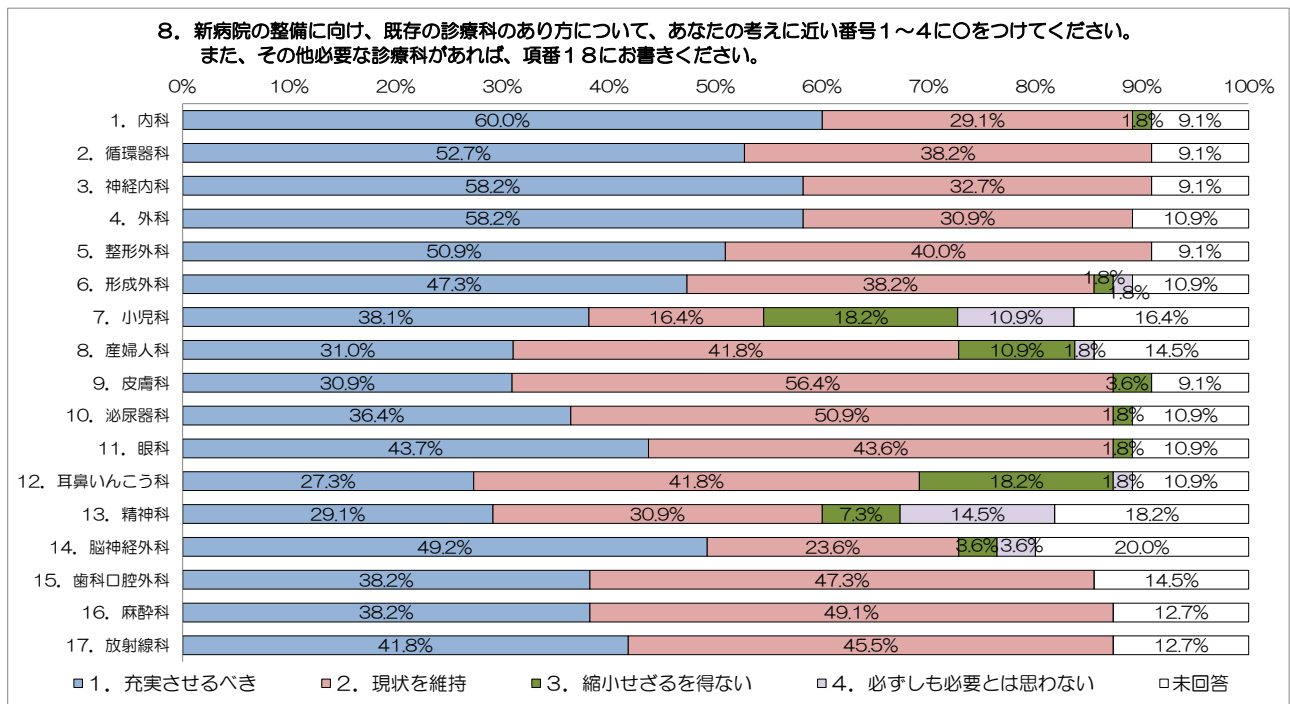
【事務・健診】

(n=27)



【職員番号未記入者】

(n=55)



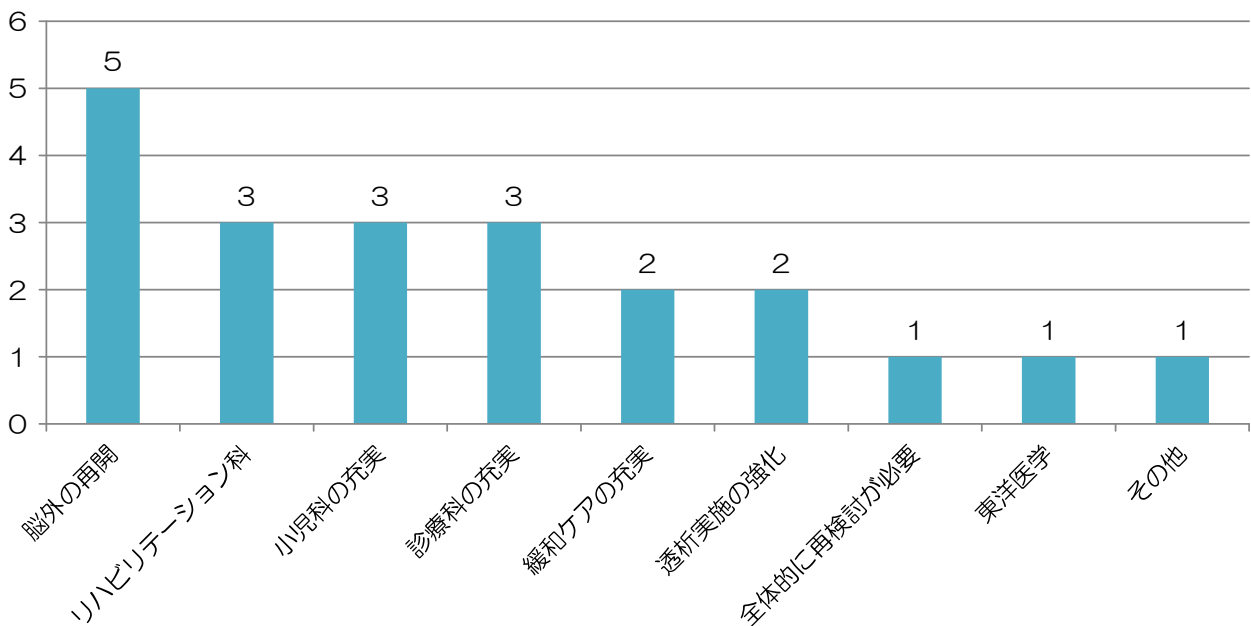
○自由記述

自由記述では、脳神経外科の再開や回復期リハビリテーション病棟設置に関連してリハビリテーション科を望む回答が見られ、理由として救急体制の充実のため等、選択回答項目の具体的・補足的な内容となっている。他に、小児科等、現在、非常勤対応となっている診療科の常勤医師の確保といった意見も見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=17)

8. 新病院の整備に向け、既存の診療科のあり方について、あなたの考えに近い番号1～4に○をつけてください。また、その他必要な診療科があれば、項番18にお書きください。

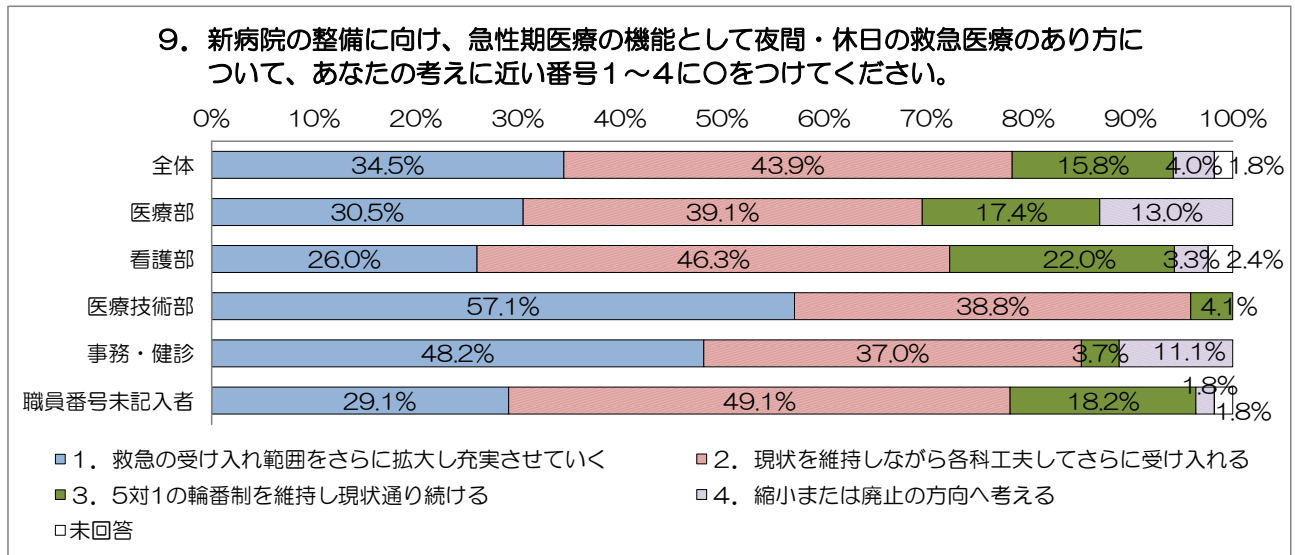




9. 新病院の整備に向け、急性期医療の機能として夜間・休日の救急医療のあり方について、あなたの考えに近い番号1～4に○をつけてください。

部門を問わず『救急の受け入れ範囲をさらに拡大し充実させていく』および『現状を維持しながら各科工夫してさらに受け入れる』で過半数を超えており、救急医療の充実に肯定的な意見が多く見られる。ただし、『縮小または廃止の方向へ考える』といった意見も若干確認できる。

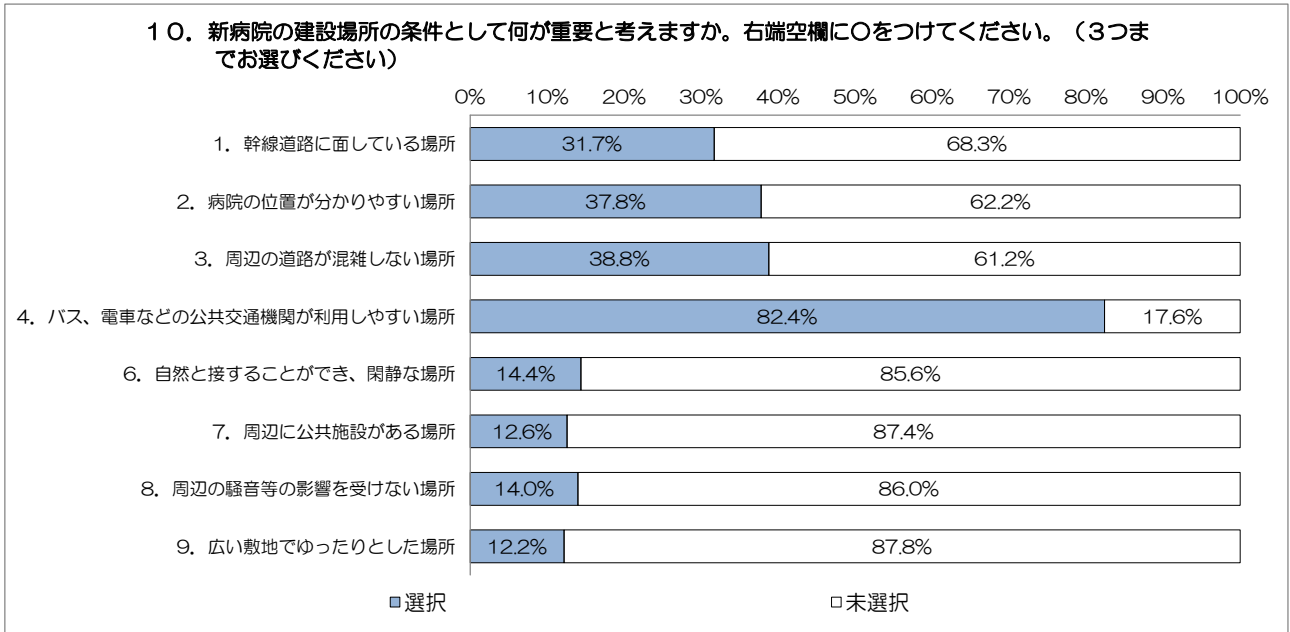
(n=278)



10. 新病院の建設場所の条件として何が重要と考えますか。右端空欄に○をつけてください。(3つまでお選びください)

新病院の建設場所の条件については、『バス、電車などの公共交通機関が利用しやすい場所』といった意見が最も多い。また、『周辺の道路が混雑しない場所』、『病院の位置が分かりやすい場所』、『幹線道路に面している場所』が次いで多く、患者の来院と職員の通勤に関する項目の意見が多い。

(n=278)

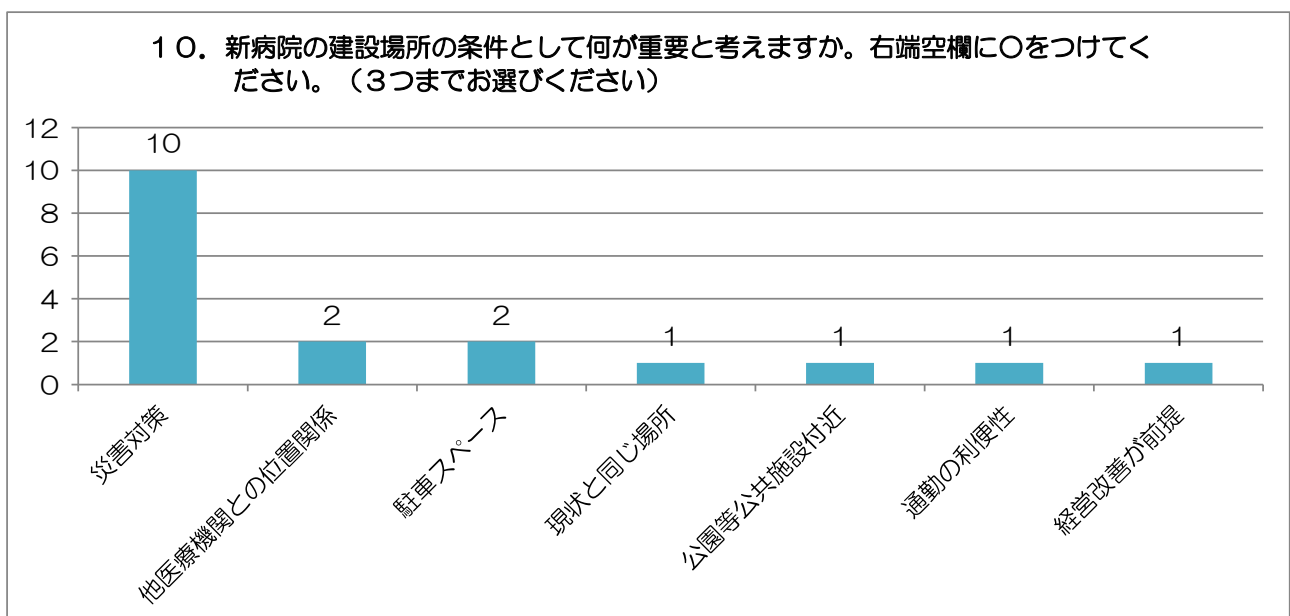


○自由記述

自由記述では、災害の影響を受けないことを挙げる回答が多く見られる。また、伊勢赤十字病院との位置関係を気にする回答も自由記述には見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=7)



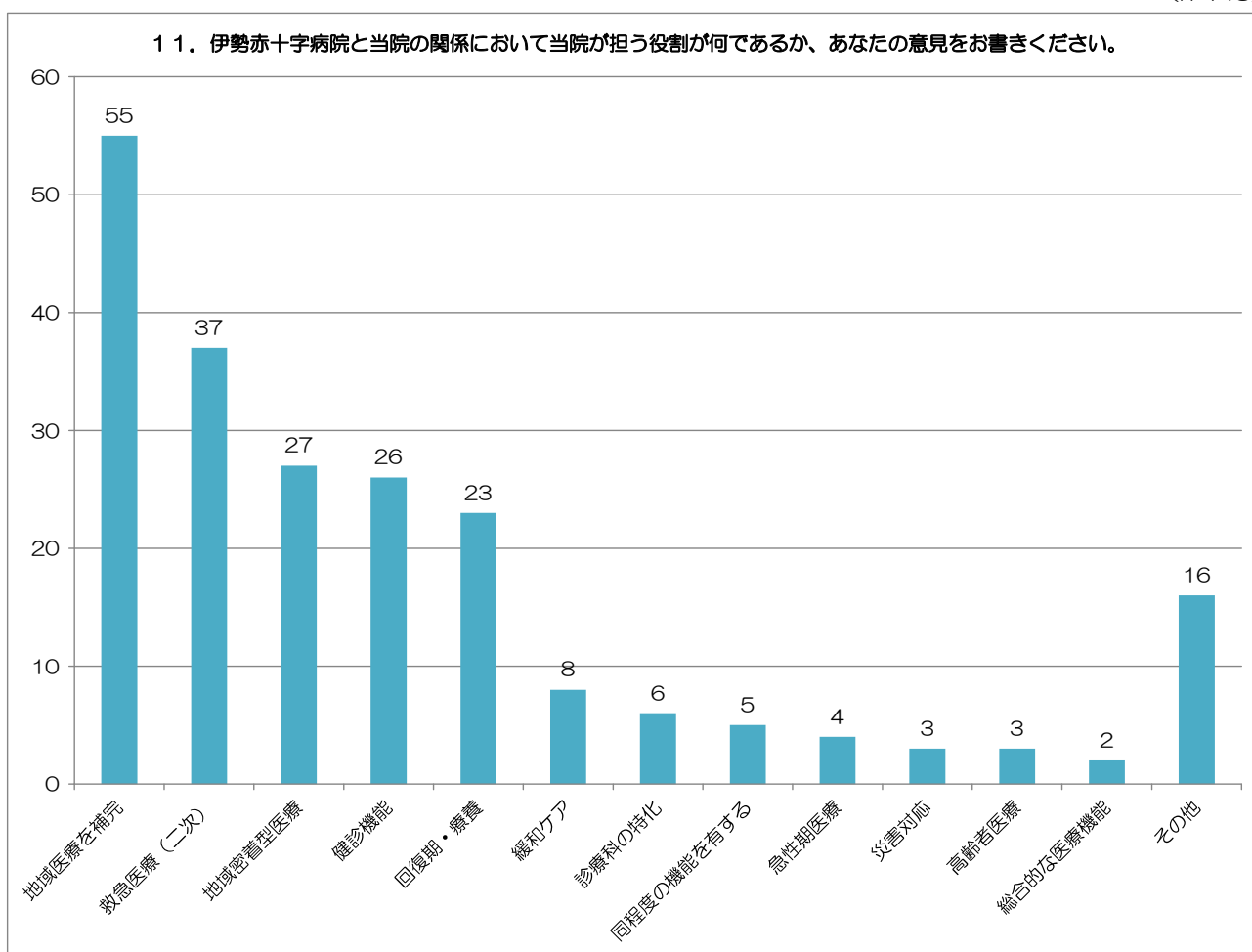
11. 伊勢赤十字病院と当院の関係において当院が担う役割が何であるか、あなたの意見をお書きください。

伊勢赤十字病院に対する市立伊勢総合病院の役割は、『伊勢赤十字病院が担っていない、また担えない分野を担うことで、地域医療を補完することである』と多くの職員が認識していると考えられる。

他に、地域診療所との連携や、公立病院として地域・住民への地域密着型の医療が重要であるとの回答も多く見られる。

※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

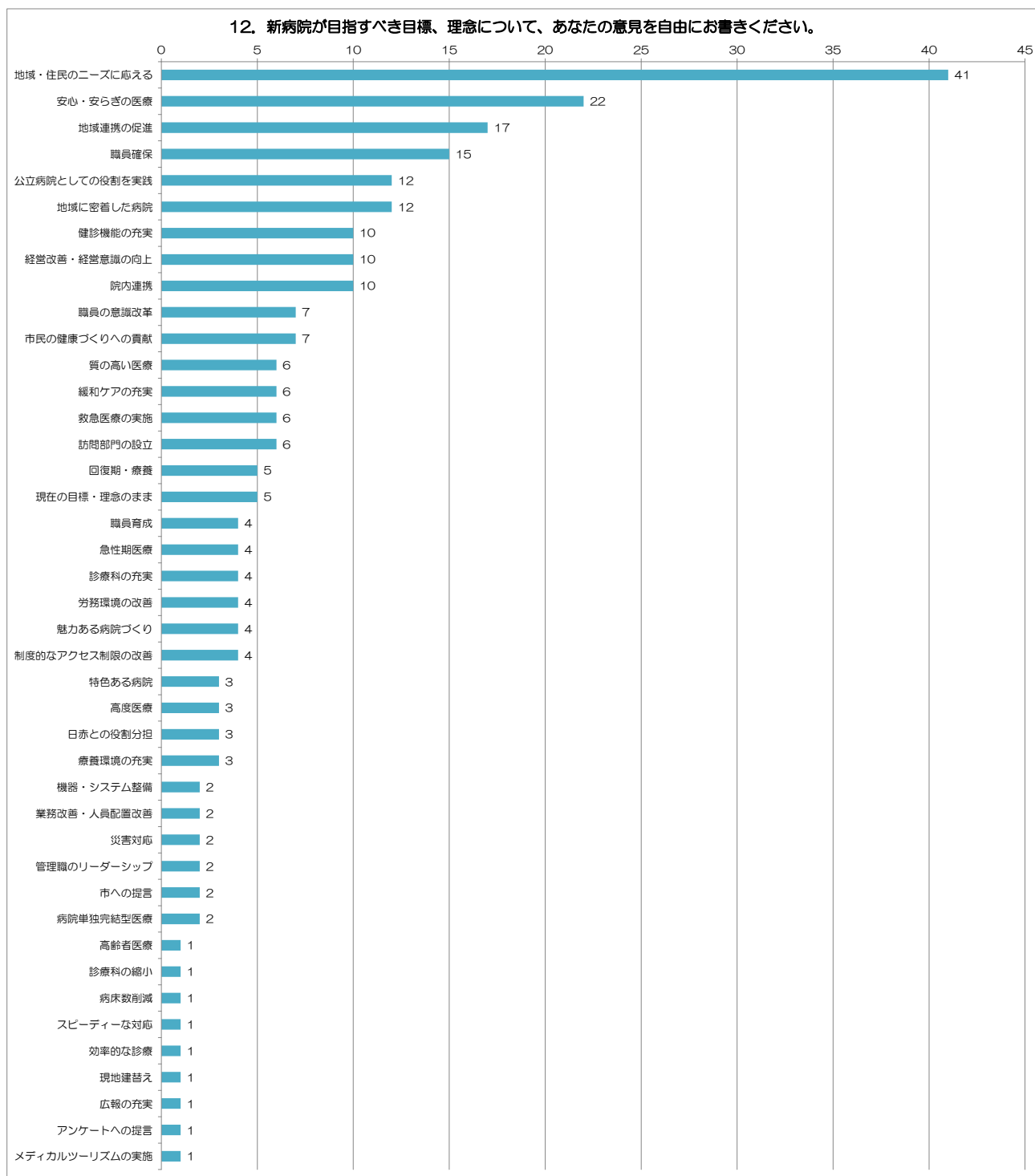
(n=148)



## 12. 新病院が目指すべき目標、理念について、あなたの意見を自由にお書きください。

職員は、公立病院として地域・住民のニーズに応えることが目指すべき目標・理念と考えている。また地域連携を促進することで、地域医療を支えることも新病院の目標・理念と考える回答も多く見られる。さらに、患者に対して安心・安らぎを感じてもらえることが重要との回答も多く見られる。  
 ※自由記述は自由記述された意見をその内容から各項目の要素に割り振っており、1つの意見に複数の要素が含まれている場合は、それぞれの要素に計上している。

(n=138)



### Ⅲ. 総括

以上の集計から以下のことが言える。

#### 1. 当院の現状におけるソフト面とハード面の整備状況と、新病院で期待されるソフト面の整備とハード面の整備の把握

##### ○現状におけるソフト面の整備状況

- ・現状の整備状況について、いずれの項目についても『どちらかと言えばそう思わない』と『思わない』の合計が回答として過半数以上となっていることから、現状のソフト面の整備状況は不十分であると多くの職員が考えている。

##### ○新病院に期待するソフト面の整備

- ・新病院におけるソフト面の整備に関する各選択項目に対して、『そう思う』と『どちらかと言えばそう思う』の合計が回答として過半数を大きく上回ることから、新病院を機にソフト面の整備が行われることを期待している職員が多いと言える。
- ・患者サービスにおいては、『医療事故の防止、医療安全の徹底強化』と『患者への対応や診療に関する説明の充実』に対して、『そう思う』と『どちらかと言えばそう思う』の回答割合が高いことから、これらに対する意識は高いと言えるが、新病院に限らず、現病院の段階からさらに改善する余地を感じているものと考えられる。

##### ○現状におけるハード面の整備状況

- ・現状のハード面の整備状況について、いずれに項目に対しても『どちらかと言えばそう思わない』と『思わない』の合計が回答として過半数を上回ることから、現状のハード面の整備状況は不十分であると多くの職員が考えている。

##### ○新病院に期待するハード面の整備

- ・新病院におけるハード面の整備に関する各選択項目に対して、『そう思う』と『どちらかと言えばそう思う』の合計が過半数を大きく上回ることから、新病院を機にハード面の整備が行われることを期待している職員が多い。
- ・ただし、『ヘリコプターの受け入れのためのヘリポートの整備』に対しては否定的な意見が過半数となっている。これは、伊勢赤十字病院にヘリポートが設置されていること、また三重県の方針としてドクターヘリの運航を伊勢赤十字病院と三重大学医学部付属病院の共同で行うことが決定していること等が影響していると考えられる。
- ・患者サービスにおいては、『院内バリアフリーの充実』を求める回答が多く、竣工から時間が経った現病院では今後の高齢社会に対応することが困難であると考えている職員が多い。
- ・職場環境に関しては、いずれの項目も必要とする意見が過半数を占めているが、会議スペースを積極的に求める回答は比較的低く、代わりに職務・診察スペースや食堂などを求める回答が多い。このことから、職員各自のスペースを確保したいと考えている職員が多いと考えられる。

#### 2. 職員から見た当院と他地域医療機関の連携状況と、新病院で地域連携に必要な要素の把握

- ・医療部、看護部、医療技術部の医療スタッフは、十分な連携が取れていると考える職員が多くなっているが、事務・健診は、地域連携が十分でないと考えている職員が多くなっており、院内でも意見が分かれている状況だと言える。

- ・しかしながら、さらに地域連携を推進するためには、『診療科の充実』が重要な要素とする意見が多く、後述する脳神経外科や小児科、精神科の充実、また、リハビリテーション科設置といった意見と関連性が高いと考えられる。

### 3. 職員から見た既存の診療科のあり方の把握

- ・既存診療科について、『充実させるべき』もしくは『現状を維持』とする回答が過半数を占めているため、特定の診療科に対して『縮小せざるを得ない』もしくは『必ずしも必要とは思わない』とする意見が過半数とはならなかった。そのため、いずれの診療科も必要だと考えられている。
- ・ただし、小児科や精神科など、非常勤医師によって運営されている科については、積極的に充実させる意見は少ないが、常勤医師を確保すべきといった意見も見られる。
- ・特に脳神経外科に関しては、多くの職員が『充実させるべき』との意見を持っている。また、回復期リハビリテーションの充実に合わせてリハビリテーション科の設置を求める意見が多く見られ、新病院の機能に応じた診療科が必要だと考えられている。

### 4. 職員から見た夜間・休日の救急医療のあり方の把握

- ・各部門、『救急の受け入れ範囲をさらに拡大し充実させていく』と『現状を維持しながら各科工夫してさらに受け入れる』で過半数を超えていることから、救急医療の充実に肯定的な職員が多いと考えられる。

### 5. 職員から見た新病院建設場所の条件の把握

- ・『バス、電車などの公共交通機関が利用しやすい場所』を回答として多く挙げている。患者の通院の利便性だけでなく、職員の通勤の利便性も考えた上での回答であると考えられる。『幹線道路に面している場所』や『周辺の道路が混雑しない場所』が次いで多い傾向があることから、患者の来院利便性および職員自身の通勤利便性に配慮されたものと言える。
- ・また、震災発生に備えた立地場所を求める意見も軽視できない意見である。

### 6. 職員から見た伊勢赤十字病院と当院の役割分担の把握

- ・伊勢赤十字病院の後方支援ではなく、伊勢赤十字病院が担うことができない分野を担うことによる相互補完型の役割分担と考えている職員が多い。

### 7. 職員が考える新病院の目標、理念の把握

- ・公立病院として、地域・住民のニーズに答えることが必要と考える職員が多い。
- ・また、地域連携の推進という意見も見られ、現在の連携の状況は十分だという意見が過半数となっているが、さらに連携を推進できる余地があり、そのことを目標・理念にすることが相応しいと考えている意見が見られる。
- ・医師をはじめとする職員の確保、そのための業務改善や院内連携が必要とする意見が見られた。